

糸魚川市学校施設長寿命化計画

平成 25 年 3 月策定
平成 30 年 3 月改訂

糸魚川市教育委員会事務局こども課

目次

1	学校施設の長寿命化計画の背景、目的等	1
	背景	1
	目的	1
	計画期間	2
	対象施設	2
2	学校施設の目指すべき姿	2
	安全・安心な施設環境の確保	2
	教育環境の質的向上（快適・エコ・高機能・柔軟）	2
3	学校施設の実態	3
	学校施設の運営状況、活用状況等の実態	3
	学校施設の老朽化状況の実態	11
4	学校施設整備の基本的な方針等	17
	学校施設の規模・配置計画等の方針	17
	改修等の基本的な方針	18
5	基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	22
	改修等の整備水準	22
	用途別の整備水準	24
	維持管理の項目・手法等	26
6	長寿命化の実施計画	38
	改修等の優先順位付けと実施計画	38
	長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果	39
7	長寿命化計画の継続的運用方針	39
	情報基盤の整備と活用	39
	推進体制等の整備	39
	フォローアップ	39

1 学校施設の長寿命化計画の背景、目的等

背景

糸魚川市の学校施設は、合併前の旧町村単位規模で整備してきた経緯があり、昭和40年代から60年代にかけて、老朽化した木造校舎を非木造校舎へ改築（建て替え）してきた。平成17年の市町合併時には、それぞれの市町で整備した小中学校を現状のまま引き継いでいる。昭和56年以前に建築された旧耐震基準の学校施設については、耐震診断と必要に応じて耐震補強工事を行い、平成26年度までに耐震化を完了させているが、昭和40年代に建設された学校施設では、老朽化が進行しており、順次、大規模改修、改築（建て替え）が必要となっている。

学校施設は、未来を担う子供たちが集い、生き生きと学び、生活をする場であるとともに、地域住民にとっては生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場であり、災害時には避難所としての役割も果たす重要な施設である。そのため、学校施設の老朽化対策は、先送りできない重要な課題である。

当市の財政状況は、歳出面では社会福祉関連分野が増加し、歳入面では地方交付税が合併算定替えによる削減や生産年齢人口の減少による税収減により、一層厳しいものとなることが予想されている。

今後も学校施設を継続的に維持管理していくためには、経年劣化による改修費用だけではなく、改築（建て替え）にも多額な費用が必要になるため、コスト縮減や予算の平準化を検討する必要がある。併せて、人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化も進行しているため、学校施設の適正配置を図る必要もある。

目的

国土交通省は、平成25年11月にインフラ長寿命化基本計画を策定し、国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図る方向性を打ち出した。これを踏まえ、文部科学省は、所管又は管理する施設の維持管理等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにするため、文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）を策定した。

当市においても、インフラ長寿命化基本計画に基づき、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取り組みの方向性を明らかにする計画として、平成28年3月に糸魚川市公共施設等総合管理指針（以下「指針」という。）を策定した。市は、指針に基づき平成30年度までに施設分類ごとの個別計画を作成するとしている。

学校施設に関しては、小中学校施設の老朽化を調査し、今後予想される改修工事の内容、事業費、スケジュールについて、全体的な施設の長寿命化計画をたて、今後の整備計画、実施計画のための基礎資料とすることを目的として、平成25年3月に糸魚川市学校施設長寿命化計画書（以下「学校施設長寿命化計画」という。）を策定した。

学校施設長寿命化計画は、指針より前に策定した計画であることから、今回、指針との整合を図るために改訂し、今後は当市における学校施設の個別計画と位置づけるものとする。

計画期間

学校施設長寿命化計画は、平成25年度から平成54年度までの30年間の計画とし、原則として5年毎に見直しを行うものとする。なお、児童生徒数の変化、社会経済情勢、国の補助制度の動向により早急な対応が必要な場合には、随時見直すものとする。

対象施設

学校施設長寿命化計画（平成30年3月改訂版）における対象施設は、平成30年4月1日現在の以下施設とする。

小学校（校舎、体育館、プール、グラウンド）	14校
中学校（校舎、体育館、プール、グラウンド）	4校
特別支援学校（校舎、体育館）	1校
教職員住宅	3棟
給食センター	1棟

詳細はP.6～P.8参照

2 学校施設の目指すべき姿

安全・安心な施設環境の確保

学校施設は、児童・生徒の学習と生活の場であるとともに、地域コミュニティや防災拠点、避難所としての役割を果たす施設でもあるため、安全かつ安心な施設環境を確保することが必要である。

児童・生徒が安心して有意義な学校生活ができるよう、防犯への安全性に配慮した施設整備を図るとともに、障害の有無に関わらず安心して学校施設を利用できるようエレベーター、多目的トイレなど防災機能の強化、ユニバーサルデザインやバリアフリー化を積極的に進める必要がある。

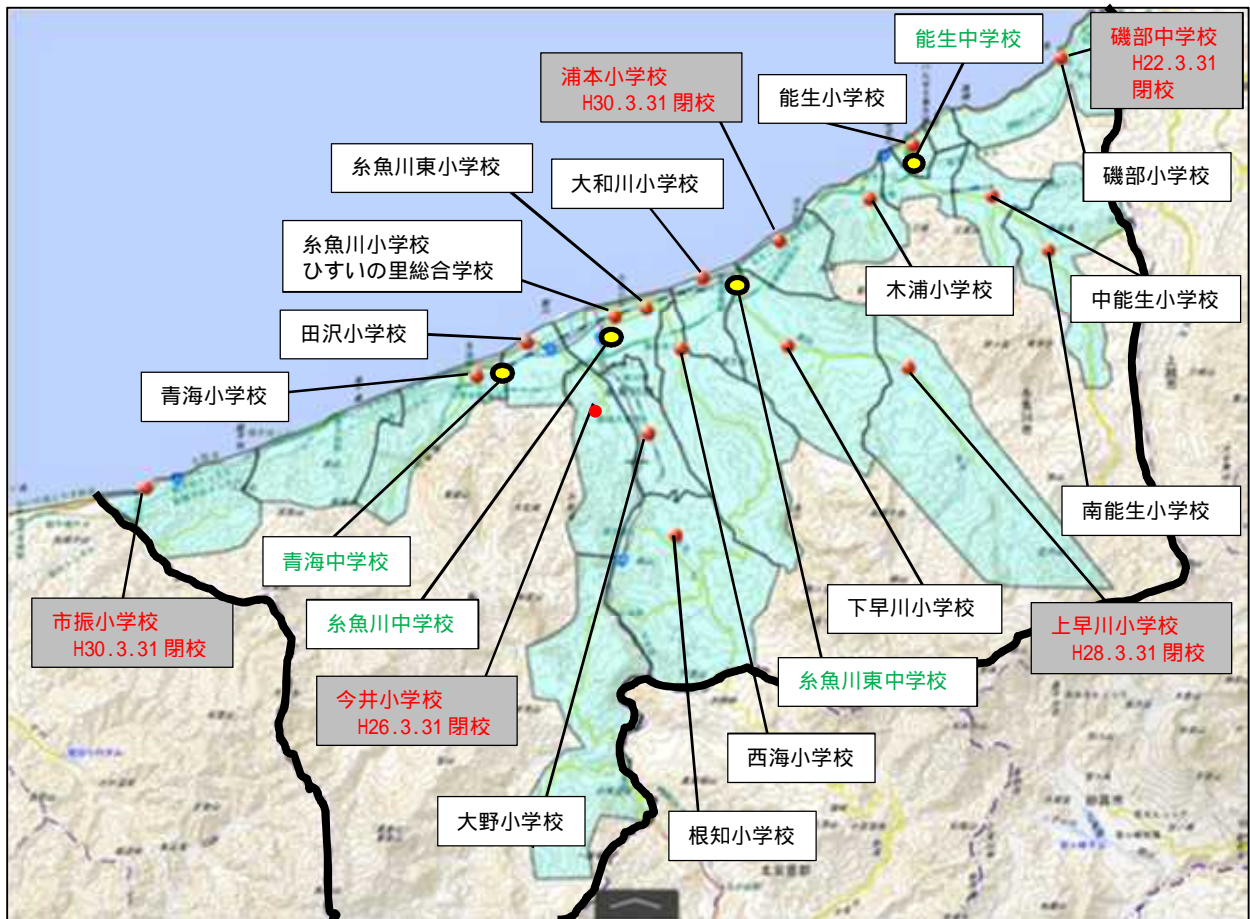
教育環境の質的向上（快適・エコ・高機能・柔軟）

近年の教育内容・方法の多様化や児童・生徒の生活様式の変化等も踏まえ、トイレの洋式化、エアコンの整備など、時代に即した多機能かつ高機能な教育環境の確保、また、太陽光発電設備の導入、高断熱材の採用のほか、LED照明、人感センサー照明など省エネルギー化により環境に配慮した施設整備を積極的に取り組む必要がある。

さらに、情報化の進展と普及に伴い、ICT環境の一体的な整備を効率的に進めるとともに児童・生徒一人ひとりの教育ニーズに応じて、少人数学習や特別支援教育に対応した施設を整備する必要がある。

また、余裕教室の有効活用として転用可能な多目的スペースを確保することにより、地域コミュニティや生涯学習の場として地域連携施設や放課後児童クラブ室等を設置することも重要である。

学校施設の配置状況



当市は、東西約51kmの長い海岸線を有し、面積が746.24km²と広い。市面積の約87%が森林で、地理的な条件もあり集落が点在しているため、市内の広範囲において、小中学校が配置されている。

平成17年の市町合併時は、小学校は18校（糸魚川地域10校、能生地域5校、青海地域3校）、中学校は5校（糸魚川地域2校、能生地域2校、青海地域1校）であった。その後、平成22年度に磯部中学校が能生中学校へ、平成26年度に今井小学校が糸魚川小学校へ、平成28年度に上早川小学校が下早川小学校へ統合された。

平成30年度には、浦本小学校が大和川小学校へ、市振小学校が青海小学校へ統合され、小学校は14校（糸魚川地域7校、能生地域5校、青海地域2校）、中学校は4校（糸魚川地域2校、能生地域1校、青海地域1校）となる。

地域別小中学校数（平成30年4月1日現在）

地域別	小学校	中学校	合計
糸魚川地域	7	2	9
能生地域	5	1	6
青海地域	2	1	3
合計	14	4	18

学級数、児童生徒数の推移

【小学校】

	施設名称	H19		H29		H30 見込		H31 見込		H32 見込		H33 見込	
		級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数
1	磯部小	6	91	4	50	5	49	4	45	4	43	4	43
2	能生小	9	212	7	175	6	161	7	174	6	183	6	183
3	南能生小	4	45	4	32	3	32	3	25	3	24	3	22
4	中能生小	6	107	5	57	5	56	4	37	4	45	4	39
5	木浦小	4	41	3	19	3	19	3	15	3	11	3	10
-	浦本小	4	45	3	22	-	-	-	-	-	-	-	-
6	下早川小	6	112	6	76	6	75	6	73	6	70	6	71
7	大和川小	9	237	6	174	6	202	6	193	6	182	6	184
8	西海小	6	106	6	103	6	95	6	88	6	76	5	76
9	糸魚川東小	12	313	12	289	10	283	10	273	9	265	9	251
10	糸魚川小	18	515	16	467	13	443	13	444	12	427	12	399
11	大野小	6	89	6	70	6	71	6	74	6	65	5	59
12	根知小	4	41	4	36	4	39	4	40	3	33	3	29
13	田沢小	12	308	10	215	8	229	8	223	8	214	8	199
14	青海小	6	164	6	123	6	124	6	117	6	127	6	131
-	市振小	4	23	2	9	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計		116	2,480	100	1,917	87	1,885	86	1,828	82	1,771	81	1,704

学級数には特別支援学級を含めていない。

浦本小学校と市振小学校は、平成29年度末で閉校となる。

【中学校】

	施設名称	H19		H29		H30 見込		H31 見込		H32 見込		H33 見込	
		級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数
1	能生中	10	268	6	182	6	184	6	189	6	172	6	167
2	糸魚川東中	8	235	6	162	6	157	6	141	6	140	6	145
3	糸魚川中	15	554	16	502	14	485	13	463	14	489	14	491
4	青海中	9	269	6	188	6	177	6	168	6	175	6	186
合 計		42	1,313	34	1,034	32	1,003	31	961	32	976	32	989

学級数には特別支援学級を含めていない。

H19の能生中学校に磯部中学校分を足している。

平成19年から29年までの10年間で、小学校では563人、中学校では279人の児童生徒が減少となった。

今後も児童生徒数の減少により、学級数も減ることが予想され、空き教室の利活用や廃校施設の有効活用が課題である。

学校敷地・グラウンドの状況

【小学校】

	施設名称	土地 筆数	学校面積 (㎡)	うち グラウンド面積	借地 筆数	借地面積 (㎡)	備考
1	磯部小学校	49	21,109	12,447	36	13,435	直線 100m確保
2	能生小学校	44	21,842	12,447	-	-	直線 100m確保
3	南能生小学校	52	10,109	7,401	-	-	直線 100m確保
4	中能生小学校	31	10,026	7,143	-	-	直線 100m確保
5	木浦小学校	8	8,461	5,492	-	-	直線 100m確保
-	浦本小学校	31	14,641	8,785	-	-	直線 100m斜め確保
6	下早川小学校	53	13,967	7,360	46	10,615	直線 100m斜め確保
7	大和川小学校	21	17,177	9,788	-	-	直線 100m斜め確保
8	西海小学校	8	15,864	9,000	1	540	直線 100m確保
9	糸魚川東小学校	13	28,840	16,960	-	-	直線 100m確保
10	糸魚川小学校	8	23,719	10,000	-	-	直線 100m確保
11	大野小学校	41	11,655	6,756	-	-	直線 100m確保
12	根知小学校	2	21,123	13,200	-	-	直線 100m確保
13	田沢小学校	2	31,928	16,221	2	31,928	直線 100m確保
14	青海小学校	60	58,599	8,050	47	48,831	直線 100m確保
-	市振小学校	14	6,742	3,002	8	2,226	直線 100m確保

浦本小学校と市振小学校は、平成29年度末で閉校となる。

【中学校】

	施設名称	土地 筆数	学校面積 (㎡)	うち グラウンド面積	借地 筆数	借地面積 (㎡)	備考
1	能生中学校	83	18,828	9,961	-	-	直線 100m確保
2	糸魚川東中学校	73	25,211	13,318	-	-	直線 100m確保
3	糸魚川中学校	227	54,626	19,249	-	-	直線 100m確保
4	青海中学校	60	42,698	14,173	23	22,319	直線 100m確保

【特別支援学校】

	施設名称	土地 筆数	学校面積 (㎡)	うち グラウンド面積	借地 筆数	借地面積 (㎡)	備考
1	ひすいの里総合学校	2	2,222	-	-	-	

学校敷地は、大半は市有地であるが、一部では借地となっている。グラウンドは、全ての小中学校で直線 100mコースが確保されている。

グラウンドの課題としては、フェンス、防球ネットの更新、表土の飛散・流出対策などが挙げられる。

校舎・体育館の状況

【小学校】

	施設名称	校舎			体育館			備考
		建築年	構造	面積(㎡)	建築年	構造	面積(㎡)	
1	磯部小学校	H25	RC	2,439	S60	S	735	
2	能生小学校	S48	RC	4,921	H07	S	1,030	
					S56	RC	217	小体育館
3	南能生小学校	S59	RC	1,839	S59	S	688	
4	中能生小学校	S63	RC	2,174	H19	S	966	
5	木浦小学校	S52	RC	1,455	S53	S	633	
-	浦本小学校	H01	RC	2,646	H02	RC	779	
6	下早川小学校	S56	RC	3,855	H19	S	1,000	
7	大和川小学校	S60	RC	5,156	S61	RC	1,343	
8	西海小学校	H17	RC	3,037	H17	S	984	
9	糸魚川東小学校	S54	RC	4,361	S55	RC	1,510	
10	糸魚川小学校	H24	RC	8,623	H14	S	1,517	
11	大野小学校	H11	RC	3,725	H12	S	978	
12	根知小学校	S47	RC	3,414	S49	S	1,138	
13	田沢小学校	H18	RC	6,943	H20	RC	1,287	
14	青海小学校	S47	RC	6,267	S47	RC	1,073	
-	市振小学校	H02	RC	1,931	H03	RC	700	

浦本小学校と市振小学校は、平成29年度末で閉校となる。

【中学校】

	施設名称	校舎			体育館			備考
		建築年	構造	面積(㎡)	建築年	構造	面積(㎡)	
1	能生中学校	H04	RC	8,029	H05	S	1,636	
					H05	S	938	柔剣道場
2	糸魚川東中学校	H24	RC	7,374	H23	RC	1,530	
					H07	S	895	武道館
3	糸魚川中学校	H08	RC	12,489	H22	RC	2,528	
					S59	S	869	武道館
4	青海中学校	S62	RC	11,896	S62	RC	2,366	
					S62	RC	1,489	柔剣道場

【特別支援学校】

	施設名称	校舎			体育館			備考
		建築年	構造	面積(㎡)	建築年	構造	面積(㎡)	
1	ひすいの里総合学校	H25	RC	1,061	H25	RC	309	

プールの状況

【小学校】

	施設名称	建築年	規模					浄化装置		備考
			1-1	寸法	最深	最浅	低床	ろ材	ろ過能力	
1	磯部小学校	S49	6	25 × 13	1.2	0.8	-	カートリッジ	40 m ³ /h	
2	能生小学校	S57	8	25 × 17	1.2	0.9	-	砂	80 m ³ /h	
3	南能生小学校	S48	6	25 × 13	1.2	0.8	-	カートリッジ	40 m ³ /h	
4	中能生小学校	S46	6	25 × 13	1.2	0.8	-	カートリッジ	60 m ³ /h	
5	木浦小学校	S51	6	25 × 13	1.2	0.8	-	カートリッジ	40 m ³ /h	
-	浦本小学校	S49	5	25 × 10	1.2	1.0	-	カートリッジ	40 m ³ /h	
6	下早川小学校	S43	7	25 × 15	1.3	1.0	-	珪藻土	60 m ³ /h	
7	大和川小学校	S47	7	25 × 16	1.2	1.0	-	珪藻土	30 m ³ /h	
8	西海小学校	H16	6	25 × 13	1.2	1.0	0.6	砂	80 m ³ /h	
9	糸魚川東小学校	S55	7	25 × 14	1.2	0.8	-	カートリッジ	60 m ³ /h	
		S55	-	10 × 5	0.8	0.6	-	カートリッジ	15 m ³ /h	
10	糸魚川小学校	H23	8	25 × 17	1.1	0.9	0.7	カートリッジ	80 m ³ /h	
11	大野小学校	S47	6	25 × 13	1.2	1.0	-	カートリッジ	40 m ³ /h	
12	根知小学校	S50	6	25 × 13	1.3	1.0	0.6	カートリッジ	40 m ³ /h	
13	田沢小学校	H19	6	25 × 13	1.2	0.9	-	砂	80 m ³ /h	
		H19	-	7 × 3.1	0.5	0.5	-			
14	青海小学校	S48	7	25 × 15	1.3	1.0	-	カートリッジ	60 m ³ /h	
-	市振小学校	S49	5	25 × 10	1.1	1.0	-	カートリッジ	40 m ³ /h	

浦本小学校と市振小学校は、平成29年度末で閉校となる。

その他の状況

ア 教職員住宅

	施設名称	所在地	土地筆数	土地面積(㎡)	建築年	構造	建物面積(㎡)	備考
1	横町教職員住宅	横町 5-79-3	8	1,638	H06	RC	965	20世帯
2	東寺町教職員住宅	東寺町 3-4-8	6	1,593	H08	木造	722	20世帯
3	須沢教職員住宅	大字須沢 3152	3	897	H09	木造	514	10世帯
-	能生教職員住宅	大字能生	4	660	H02	木造	502	10世帯

能生教職員住宅は、平成29年度末で用途廃止され、市内県立高校の女子寮に変更となる。

イ 給食センター

	施設名称	所在地	土地筆数	土地面積(㎡)	建築年	構造	建物面積(㎡)	備考
1	能生給食センター	大字能生 2714-1	2	1,735	H21	S	722	

調理業務に関しては、平成26年度から民間委託としている。

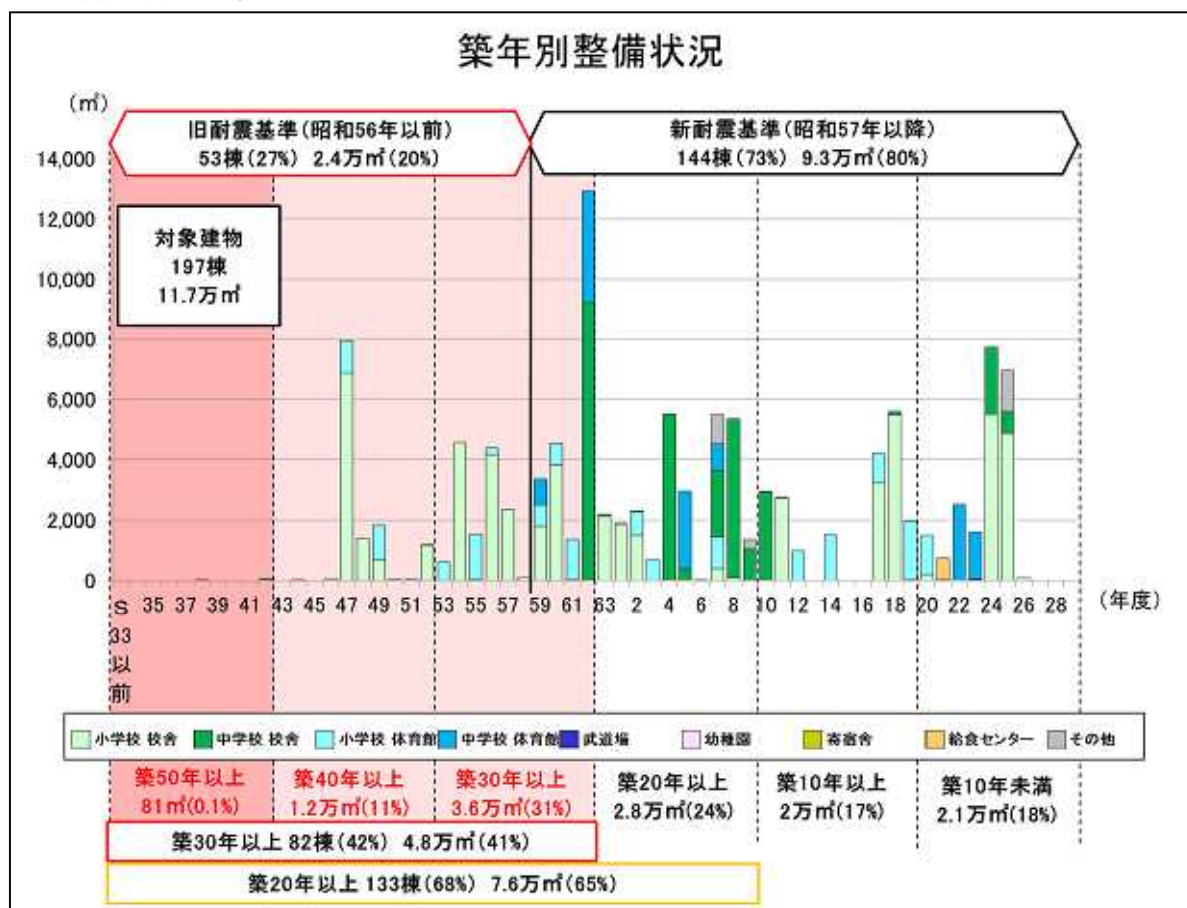
施設関連経費の推移

単位（千円）

	H24	H25	H26	H27	H28	5年合計	5年平均
施設整備費	1,787,042	1,429,356	128,701	159,875	91,615	3,596,589	719,318
その他施設整備費	14,561	47,571	33,957	0	68,363	164,452	32,890
維持修繕費	20,472	26,675	26,244	31,430	32,712	137,533	27,507
光熱水費・委託費	122,196	128,121	128,823	139,235	145,453	663,828	132,766
合計	1,944,271	1,631,723	317,725	330,540	338,143	4,562,402	912,481

平成23年度から25年度にかけて、3校（糸魚川小学校、磯部小学校、糸魚川東中学校）の改築（建て替え）工事を実施したため、過去5年間の施設関連経費は、年平均で9.1億円と大きく膨らんだ。しかし、過去3年間の施設関連事業費に限れば、改築事業がなかったため、施設関連経費は年平均で3.3億円となっている。

学校施設の保有量



昭和56年以前（旧耐震基準）の学校施設は全体の20%を占めているが、学校施設の耐震化はすべて完了している。

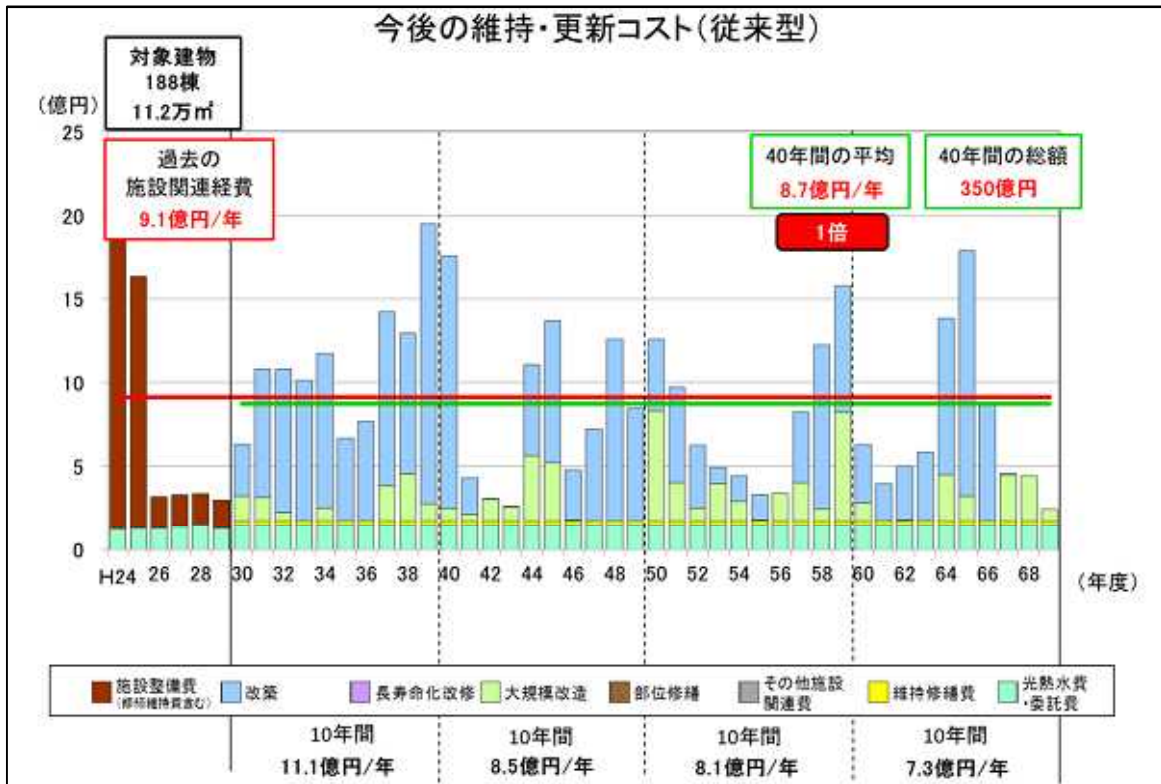
築30年以上経過した学校施設は、4.8万㎡で全体の41%である。市施設全体で築30年以上経過した施設は34%であるため、学校施設の老朽化が特に進んでいると言える。

今後の維持・更新コスト（従来型）

基準年度	2017	年
試算期間：基準年の翌年度から40年間		

改築		
更新周期	40	年
改築単価	200,000	円/㎡
工事期間	2	年
実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施		

大規模改造		
実施年数	20	年周期
工事期間	1	年



建築後20年で大規模改修を実施、建築後40年で改築（建て替え）という従来型の更新サイクルを続けると仮定して、今後の維持・更新コストを試算した。

建築後40年で改築（建て替え）する従来の修繕・改修を続けた場合、今後40年間のコストは350億円（年平均8.7億円）必要となる。これは、直近5年間の投資的経費年平均9.1億円とほぼ同じであるが、直近3年間で比較すれば2.6倍の事業費が毎年必要ということである。

今後も従来の改築（建て替え）中心の整備を継続することは、当市の財政事情からすると限りなく不可能であると言える。

学校施設の老朽化状況の実態

構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

構造躯体以外の劣化状況を比較し、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価した。

建物情報一覧表

■:築50年以上 □:築30年以上 基準 2017

A:概ね良好 C:広範囲に劣化
B:部分的に劣化 D:早急に対応する必要がある

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		構造躯体の健全性			劣化状況評価					備考				
						学校種別	建物用途				西暦	和暦	築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁		内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
														基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)							
1	3243	磯部小学校	プール付属室	4		小学校	校舎	S	1	9	1974	S49	43	旧	-	-		長寿命	C	C	C	C	C	40	
2	3243	磯部小学校	トイレ	5-1		小学校	校舎	W	1	26	1976	S51	41	旧	-	-		長寿命	C	C	C	C	C	40	
3	3243	磯部小学校	校舎	6		小学校	校舎	RC	2	1,238	2012	H24	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
4	3243	磯部小学校	渡り廊下	7		小学校	校舎	RC	1	5	2012	H24	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
5	3243	磯部小学校	渡り廊下	8		小学校	校舎	RC	1	1	2012	H24	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
6	3243	磯部小学校	校舎(特別教室)	9		小学校	校舎	RC	2	1,195	2012	H24	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
7	3243	磯部小学校	体育館	10-1		小学校	体育館	S	1	704	1985	S60	32	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
8	3243	磯部小学校	渡り廊下	10-2		小学校	体育館	S	1	8	1985	S60	32	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
9	3243	磯部小学校	体育館	12		小学校	体育館	S	1	23	2011	H23	6	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
10	3237	能生小学校	校舎	1-1		小学校	校舎	RC	3	2,325	1982	S57	35	新	-	済		改築	C	B	C	C	B	54	
11	3237	能生小学校	渡り廊下	1-2		小学校	校舎	RC	1	21	1982	S57	35	新	-	-		改築	C	C	C	C	C	40	
12	3237	能生小学校	校舎	2		小学校	校舎	RC	3	1,173	1981	S56	36	旧	済	済		改築	C	B	C	C	B	54	
13	3237	能生小学校	校舎(特別教室)	7-1		小学校	校舎	RC	3	1,358	1973	S48	44	旧	済	済		改築	C	B	C	C	B	54	
14	3237	能生小学校	体育館	8		小学校	体育館	RC	3	217	1981	S56	36	旧	済	-		改築	C	C	A	C	C	62	
15	3237	能生小学校	プール付属室	10		小学校	校舎	S	1	79	1983	S58	34	新	-	-		改築	C	C	C	C	C	40	
16	3237	能生小学校	体育館	13		小学校	体育館	S	2	1,030	1995	H07	22	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
17	3237	能生小学校	渡り廊下	14		小学校	校舎	RC	1	17	1995	H07	22	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
18	3237	能生小学校	渡り廊下	15		小学校	校舎	RC	1	20	1995	H07	22	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
19	3237	能生小学校	渡り廊下	16		小学校	校舎	RC	1	7	1995	H07	22	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
20	3239	南能生小学校	倉庫	4		小学校	校舎	S	1	13	1973	S48	44	旧	-	-		長寿命	C	C	C	C	C	40	
21	3239	南能生小学校	プール付属室	5		小学校	校舎	S	1	13	1973	S48	44	旧	-	-		長寿命	C	C	C	C	C	40	
22	3239	南能生小学校	校舎	7		小学校	校舎	RC	3	1,797	1984	S59	33	新	-	-		長寿命	C	C	C	C	C	40	
23	3239	南能生小学校	体育館	8		小学校	体育館	S	1	680	1984	S59	33	新	-	-		長寿命	C	C	C	C	C	40	
24	3239	南能生小学校	渡り廊下	9		小学校	校舎	RC	1	8	1984	S59	33	新	-	-		長寿命	C	C	C	C	C	40	
25	3239	南能生小学校	車庫	10		小学校	校舎	W	1	21	1988	S63	29	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
26	3239	南能生小学校	倉庫	11		小学校	校舎	W	1	7	1994	H06	23	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
27	3238	中能生小学校	プール付属室	5		小学校	校舎	S	1	10	1971	S46	46	旧	-	-		長寿命	C	C	C	C	C	40	
28	3238	中能生小学校	校舎	9		小学校	校舎	RC	3	1,941	1988	S63	29	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	A	47	
29	3238	中能生小学校	渡り廊下	9-1		小学校	校舎	RC	1	5	1988	S63	29	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
30	3238	中能生小学校	校舎	12		小学校	校舎	RC	1	140	1988	S63	29	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	A	47	
31	3238	中能生小学校	校舎	13-1		小学校	校舎	W	1	83	1996	H08	21	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	A	78	
32	3238	中能生小学校	渡り廊下	13-2		小学校	校舎	RC	1	2	1996	H08	21	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	A	78	
33	3238	中能生小学校	体育館	14		小学校	体育館	S	2	942	2007	H19	10	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
34	3238	中能生小学校	体育館屋外トイレ	14-1		小学校	体育館	S	1	6	2007	H19	10	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
35	3238	中能生小学校	渡り廊下	14-2		小学校	体育館	RC	1	19	2007	H19	10	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
36	3242	木浦小学校	校舎	1		小学校	校舎	RC	2	1,099	1977	S52	40	旧	済	-		長寿命	B	C	C	C	C	43	
37	3242	木浦小学校	体育館	4-1		小学校	体育館	S	1	610	1978	S53	39	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
38	3242	木浦小学校	渡り廊下	4-2		小学校	体育館	RC	1	6	1978	S53	39	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
39	3242	木浦小学校	プール付属室	8		小学校	校舎	S	1	9	1976	S51	41	旧	-	-		長寿命	C	C	C	C	C	40	
40	3242	木浦小学校	用具室	9		小学校	校舎	S	1	6	1985	S60	32	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
41	3242	木浦小学校	校舎(特別教室)	11		小学校	校舎	W	1	349	1995	H07	22	新	-	-	-	長寿命	B	C	C	C	C	43	
42	3242	木浦小学校	渡り廊下	12		小学校	体育館	W	1	17	1995	H07	22	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
43	1502	下早川小学校	校舎	1-3		小学校	校舎	RC	3	1,882	1981	S56	36	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
44	1502	下早川小学校	校舎(特別教室)	2-2		小学校	校舎	RC	3	973	1981	S56	36	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
45	1502	下早川小学校	校舎(給食室)	6		小学校	校舎	RC	1	123	1981	S56	36	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
46	1502	下早川小学校	渡り廊下	7-2		小学校	体育館	RC	1	13	1981	S56	36	旧	済	済		長寿命	C	C	C	C	C	40	
47	1502	下早川小学校	プール機械室	9		小学校	校舎	W	1	14	1969	S44	48	旧	-	-		長寿命	C	C	C	C	C	40	
48	1502	下早川小学校	プール付属室	10		小学校	校舎	W	1	46	1971	S46	46	旧	-	-		長寿命	C	C	C	C	C	40	
49	1502	下早川小学校	体育館	11		小学校	体育館	S	2	987	2007	H19	10	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
50	1507	大和川小学校	校舎	17		小学校	校舎	RC	3	3,201	1985	S60	32	新	-	-		改築	C	C	C	C	C	40	
51	1507	大和川小学校	校舎(特別教室)	18		小学校	校舎	RC	3	612	1985	S60	32	新	-	-		改築	C	C	C	C	C	40	
52	1507	大和川小学校	体育館	19		小学校	体育館	RC	2	1,343	1986	S61	31	新	-	-		改築	C	D	C	C	C	31	
53	1524	西海小学校	校舎	1-1		小学校	校舎	RC	3	3,158	2005	H17	12	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
54	1524	西海小学校	渡り廊下	1-2		小学校	体育館	RC	1	5	2005	H17	12	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
55	1524	西海小学校	渡り廊下	2		小学校	体育館	RC	1	41	2005	H17	12	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
56	1524	西海小学校	体育館	3		小学校	体育館	S	2	938	2005	H17	12	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
57	1524	西海小学校	プール機械室	4		小学校	校舎	RC	1	66	2005	H17	12	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	

建物情報一覧表

■:築50年以上 □:築30年以上 基準 2017

A:概ね良好 C:広範囲に劣化
B:部分的に劣化 D:早急に対応する必要がある

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		構造躯体の健全性				劣化状況評価					備考			
						学校種別	建物用途				西暦	和暦	築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上		電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
														基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/㎡)							
58	1523	系魚川東小学校	校舎	1-1		小学校	校舎	RC	2	1,314	1979	S54	38	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	A	78	
59	1523	系魚川東小学校	校舎(給食室)	1-2		小学校	校舎	RC	1	205	1979	S54	38	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	A	78	
60	1523	系魚川東小学校	校舎	2-1		小学校	校舎	RC	2	1,351	1979	S54	38	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	A	78	
61	1523	系魚川東小学校	体育館	3-1		小学校	体育館	RC	2	1,495	1980	S55	37	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
62	1523	系魚川東小学校	渡り廊下	3-2		小学校	体育館	RC	1	15	1980	S55	37	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
63	1523	系魚川東小学校	教職員住宅	4		その他	その他	RC	3	428	1995	H07	22	新	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
64	1523	系魚川東小学校	校舎	5-1		小学校	校舎	RC	2	613	1979	S54	38	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	A	78	
65	1523	系魚川東小学校	校舎	6-1		小学校	校舎	RC	2	819	1979	S54	38	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	A	78	
66	1523	系魚川東小学校	校舎	7-1		小学校	校舎	RC	1	152	1979	S54	38	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	A	78	
67	1523	系魚川東小学校	渡り廊下	8-1		小学校	校舎	RC	1	51	1979	S54	38	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	A	78	
68	1523	系魚川東小学校	渡り廊下	9-1		小学校	校舎	RC	2	43	1979	S54	38	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	A	78	
69	1523	系魚川東小学校	倉庫	10		小学校	校舎	S	1	18	2011	H23	6	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
70	1512	系魚川小学校	教職員住宅	20		その他	その他	RC	3	537	1995	H07	22	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
71	1512	系魚川小学校	体育館	21-1		小学校	体育館	S	1	1,129	2002	H14	15	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
72	1512	系魚川小学校	体育館	21-2		小学校	体育館	S	1	294	2002	H14	15	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
73	1512	系魚川小学校	体育館	21-3		小学校	体育館	S	2	61	2002	H14	15	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
74	1512	系魚川小学校	体育館	21-4		小学校	体育館	S	1	17	2002	H14	15	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
75	1512	系魚川小学校	体育館	21-5		小学校	体育館	S	1	16	2002	H14	15	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
76	1512	系魚川小学校	校舎	23-1		小学校	校舎	RC	2	215	2012	H24	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
77	1512	系魚川小学校	校舎	23-2		小学校	校舎	RC	1	134	2012	H24	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
78	1512	系魚川小学校	校舎	24-1		小学校	校舎	RC	2	2,406	2012	H24	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
79	1512	系魚川小学校	校舎(給食室)	24-2		小学校	校舎	RC	1	304	2012	H24	5	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
80	1512	系魚川小学校	校舎	25		小学校	校舎	RC	2	3,743	2013	H25	4	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
81	1512	系魚川小学校	校舎	26		小学校	校舎	RC	2	967	2013	H25	4	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
82	1512	系魚川小学校	渡り廊下	27		小学校	校舎	S	2	146	2013	H26	4	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
83	1513	大野小学校	プール機械室	8-1		小学校	校舎	W	1	11	1980	S55	37	旧	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
84	1513	大野小学校	プールトイレ	8-2		小学校	校舎	W	1	9	1986	S61	31	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
85	1513	大野小学校	プール用具置場	8-3		小学校	校舎	W	1	8	1988	S63	29	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
86	1513	大野小学校	校舎	9		小学校	校舎	RC	4	2,698	1999	H11	18	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
87	1513	大野小学校	校舎	10		小学校	体育館	RC	1	9	1999	H11	18	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
88	1513	大野小学校	校舎	11		小学校	校舎	RC	1	41	1999	H11	18	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
89	1513	大野小学校	渡り廊下	12		小学校	体育館	S	1	42	2000	H12	17	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
90	1513	大野小学校	体育館	13		小学校	体育館	S	2	927	2000	H12	17	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
91	1522	根知小学校	校舎	8-1		小学校	校舎	RC	3	1,809	1972	S47	45	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
92	1522	根知小学校	校舎	8-2		小学校	校舎	RC	3	362	1972	S47	45	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
93	1522	根知小学校	校舎(給食室)	9		小学校	校舎	RC	1	84	1972	S47	45	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
94	1522	根知小学校	車庫	10		小学校	校舎	S	1	26	1975	S50	42	旧	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
95	1522	根知小学校	渡り廊下	11		小学校	体育館	RC	1	164	1974	S49	43	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
96	1522	根知小学校	体育館	11-1		小学校	体育館	S	2	974	1974	S49	43	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
97	1522	根知小学校	プール機械室	13		小学校	校舎	S	1	6	1975	S50	42	旧	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
98	1522	根知小学校	倉庫	14		小学校	校舎	S	1	21	1987	S62	30	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
99	1522	根知小学校	倉庫	15-1		小学校	校舎	W	1	85	2006	H18	11	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
100	3263	田沢小学校	教職員住宅	11		その他	その他	W	2	212	1997	H09	20	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
101	3263	田沢小学校	校舎	16		小学校	校舎	RC	3	2,278	2006	H18	11	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
102	3263	田沢小学校	校舎	17		小学校	校舎	RC	3	1,204	2006	H18	11	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
103	3263	田沢小学校	校舎	18		小学校	校舎	RC	3	1,901	2006	H18	11	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
104	3263	田沢小学校	体育館	21		小学校	体育館	RC	2	1,287	2008	H20	9	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
105	3263	田沢小学校	渡り廊下	21-1		小学校	校舎	RC	2	85	2008	H20	9	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
106	3263	田沢小学校	倉庫	22		小学校	校舎	W	1	75	2008	H20	9	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
107	3263	田沢小学校	プール機械室	23		小学校	校舎	RC	1	30	2008	H20	9	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
108	3263	田沢小学校	トイレ	24		小学校	校舎	W	1	8	2007	H19	10	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
109	3263	田沢小学校	校舎(給食室)	25		小学校	校舎	RC	1	72	2014	H26	3	新	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
110	3264	青海小学校	校舎	1		小学校	校舎	RC	3	4,245	1972	S47	45	旧	済	済		長寿命	C	B	C	C	C	50	
111	3264	青海小学校	渡り廊下	2		小学校	校舎	S	1	54	1972	S47	45	旧	済	済		長寿命	C	B	C	C	C	50	
112	3264	青海小学校	ボイラー室	3		小学校	校舎	S	1	80	1972	S47	45	旧	済	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
113	3264	青海小学校	校舎(給食室)	4		小学校	校舎	RC	1	114	1972	S47	45	旧	済	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
114	3264	青海小学校	渡り廊下	5		小学校	校舎	S	1	107	1972	S47	45	旧	済	済		長寿命	C	C	C	C	C	40	
115	3264	青海小学校	体育館	6-1		小学校	体育館	RC	1	1,073	1972	S47	45	旧	済	済		長寿命	B	B	B	B	B	75	
116	3264	青海小学校	プール機械室	7		小学校	校舎	W	1	9	1973	S48	44	旧	済	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
117	3264	青海小学校	校舎(特別教室)	8-1		小学校	校舎	RC	2	605	1974	S49	43	旧	済	済		長寿命	C	B	C	C	C	50	
118	3264	青海小学校	渡り廊下	9		小学校	校舎	RC	1	34	1974	S49	43	旧	済	済		長寿命	C	C	C	C	C	40	
119	3264	青海小学校	倉庫	10		小学校	校舎	W	1	50	1977	S52	40	旧	済	済		長寿命	C	C	C	C	C	40	
120	3264	青海小学校	教職員住宅	12		その他	その他	W	2	100	1997	H09	20	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
121	3264	青海小学校	小屋	13		小学校	校舎	W	1	13	1987	S62	30	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	

浦本小学校と市振小学校は、平成29年度末で閉校となるため、リストから除いている。

建物情報一覧表

■:築50年以上 □:築30年以上 基準 2017

A:概ね良好 C:広範囲に劣化
B:部分的に劣化 D:早急に対応する必要がある

建物基本情報														構造躯体の健全性					劣化状況評価					備考		
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100満点)	
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)								試算上の区分
122	5234	能生中学校	校舎	12		中学校	校舎	RC	3	1,169	1992	H04	25	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	A	47	
123	5234	能生中学校	校舎	13		中学校	校舎	RC	4	2,207	1992	H04	25	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	A	47	
124	5234	能生中学校	校舎	13-2		中学校	校舎	RC	4	804	1992	H04	25	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	A	47	
125	5234	能生中学校	校舎(特別教室)	14		中学校	校舎	RC	4	1,225	1992	H04	25	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	A	47	
126	5234	能生中学校	渡り廊下	15		中学校	校舎	RC	1	44	1992	H04	25	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	A	47	
127	5234	能生中学校	体育館	16		中学校	体育館	S	2	1,636	1993	H05	24	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
128	5234	能生中学校	クラブ活動室	16-2		中学校	校舎	S	2	267	1993	H05	24	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
129	5234	能生中学校	柔剣道場	16-3		中学校	武道場	S	2	938	1993	H05	24	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
130	5234	能生中学校	部室	17		中学校	校舎	S	2	1,200	1993	H05	24	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
131	5234	能生中学校	トイレ	18		中学校	校舎	W	1	6	2009	H21	8	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
132	3890	系魚川東中学校	ポンプ小屋	7-1		中学校	校舎	S	1	9	1963	S38	54	旧	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
133	3890	系魚川東中学校	体育用具室	7-2		中学校	校舎	W	1	5	1963	S38	54	旧	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
134	3890	系魚川東中学校	校舎(特別教室)	8		中学校	校舎	RC	3	2,053	1995	H07	22	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	A	47	
135	3890	系魚川東中学校	ポンプ室	9		中学校	校舎	S	1	9	1995	H07	22	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
136	3890	系魚川東中学校	渡り廊下	10		中学校	校舎	RC	1	23	1995	H07	22	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
137	3890	系魚川東中学校	武道館	11		中学校	武道場	S	1	895	1995	H07	22	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
138	3890	系魚川東中学校	部室(陸上)	12		中学校	校舎	S	1	52	1995	H07	22	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
139	3890	系魚川東中学校	トイレ	13		中学校	校舎	S	1	22	1995	H07	22	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
140	3890	系魚川東中学校	部室(野球)	14		中学校	校舎	S	1	17	1995	H07	22	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
141	3890	系魚川東中学校	体育館	16		中学校	体育館	RC	1	1,530	2011	H23	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
142	3890	系魚川東中学校	渡り廊下	17		中学校	体育館	RC	2	32	2011	H23	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
143	3890	系魚川東中学校	校舎	18		中学校	校舎	RC	2	1,074	2012	H24	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
144	3890	系魚川東中学校	校舎	19-1		中学校	校舎	RC	3	1,148	2012	H24	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
145	3890	系魚川東中学校	校舎	19-2		中学校	校舎	RC	3	731	2013	H25	4	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
146	3891	系魚川中学校	武道館	5		中学校	武道場	S	1	840	1984	S59	33	新	-	済	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
147	3891	系魚川中学校	渡り廊下	7		中学校	武道場	RC	1	15	1984	S59	33	新	-	済	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
148	3891	系魚川中学校	倉庫	8		中学校	校舎	W	1	17	1967	S42	50	旧	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
149	3891	系魚川中学校	倉庫	9		中学校	校舎	W	1	50	1967	S42	50	旧	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
150	3891	系魚川中学校	倉庫	11		中学校	校舎	S	1	11	1977	S52	40	旧	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
151	3891	系魚川中学校	倉庫	12		中学校	校舎	S	1	15	1992	H04	25	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
152	3891	系魚川中学校	校舎	13		中学校	校舎	RC	3	1,680	1996	H08	21	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
153	3891	系魚川中学校	校舎	14		中学校	校舎	RC	3	1,345	1996	H08	21	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
154	3891	系魚川中学校	渡り廊下	15		中学校	校舎	RC	3	59	1996	H08	21	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
155	3891	系魚川中学校	校舎(特別教室)	16		中学校	校舎	RC	3	2,194	1996	H08	21	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
156	3891	系魚川中学校	渡り廊下	17		中学校	校舎	RC	2	39	1997	H09	20	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
157	3891	系魚川中学校	校舎(特別教室)	18		中学校	校舎	RC	2	999	1997	H09	20	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
158	3891	系魚川中学校	校舎	19		中学校	校舎	RC	2	1,127	1998	H10	19	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
159	3891	系魚川中学校	校舎	20		中学校	校舎	RC	2	1,720	1998	H10	19	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
160	3891	系魚川中学校	渡り廊下	21		中学校	校舎	RC	2	1	1998	H10	19	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
161	3891	系魚川中学校	渡り廊下	22		中学校	校舎	RC	2	52	1998	H10	19	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
162	3891	系魚川中学校	渡り廊下	23		中学校	校舎	RC	2	2	1998	H10	19	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
163	3891	系魚川中学校	渡り廊下	24		中学校	体育館	RC	1	1	1998	H10	19	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
164	3891	系魚川中学校	渡り廊下	25		中学校	体育館	RC	1	28	1998	H10	19	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
165	3891	系魚川中学校	体育館	27-1		中学校	体育館	RC	2	2,491	2010	H22	7	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
166	3891	系魚川中学校	渡り廊下	28-1		中学校	体育館	RC	1	8	2010	H22	7	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
167	3891	系魚川中学校	渡り廊下	29-1		中学校	体育館	RC	1	14	2010	H22	7	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
168	5266	青海中学校	校舎(特別教室)	16		中学校	校舎	RC	2	1,808	1987	S62	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	A	47	
169	5266	青海中学校	校舎	17		中学校	校舎	RC	3	4,147	1987	S62	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	A	47	
170	5266	青海中学校	校舎	18		中学校	校舎	RC	2	1,644	1987	S62	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	A	47	
171	5266	青海中学校	クラブ室	19		中学校	校舎	RC	1	63	1987	S62	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
172	5266	青海中学校	部室	19-1		中学校	校舎	RC	1	85	1987	S62	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
173	5266	青海中学校	校舎(音楽室)	20		中学校	校舎	RC	1	216	1987	S62	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	A	47	
174	5266	青海中学校	受水槽	21		中学校	校舎	RC	1	56	1987	S62	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
175	5266	青海中学校	体育館	22		中学校	体育館	RC	2	2,213	1987	S62	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	C	C	C	31	
176	5266	青海中学校	クラブハウス	23		中学校	校舎	RC	1	318	1987	S62	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
177	5266	青海中学校	渡り廊下	24		中学校	校舎	RC	2	153	1987	S62	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
178	5266	青海中学校	セミナーハウス	25		中学校	校舎	S	2	701	1987	S62	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
179	5266	青海中学校	柔剣道場	26		中学校	武道場	RC	2	1,489	1987	S62	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
180	5266	青海中学校	小屋	28		中学校	校舎	S	1	40	1988	S63	29	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
181	5266	青海中学校	トイレ	30		中学校	校舎	RC	1	36	1988	S63	29	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
182	5266	青海中学校	小屋	31		中学校	校舎	S	1	30	1990	H02	27	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	
183	5266	青海中学校	部室	34		中学校	校舎	RC	1	130	2006	H18	11	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
184	9946	ひすいの里総合学校	校舎	1		特別支援学校	校舎	RC	2	1,061	2013	H25	4	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
185	9946	ひすいの里総合学校	体育館	2		特別支援学校	体育館	RC	1	309	2013	H25	4	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
186	K060	能生学校給食センター	給食センター	3-1		給食センター	給食センター	S	1	639	2009	H21	8	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
187	K060	能生学校給食センター	給食センター	3-2		給食センター	給食センター	W	1	60	2009	H21	8	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
188	K060	能生学校給食センター	給食センター	3-3		給食センター	給食センター	RC	1	23	2009	H21	8	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	

劣化状況評価結果

区分	A	B	C	D	計
屋根・屋上	29	77	82	0	188
外壁	29	81	76	2	188
内部仕上	30	75	83	0	188
電気設備	29	75	84	0	188
機械設備	51	68	69	0	188
計	168	376	394	2	940
割合	17.9%	40.0%	41.9%	0.2%	100.0%

A：概ね良好 B：部分的に劣化 C：広範囲に劣化 D：早急に対応する必要がある
Aが17.9%、BとCを合わせて81.9%という結果である。

現地調査による糸魚川市学校施設の特徴

- ・外壁のクラックが多い。
- ・笠木がモルタル等であるため、汚れが目立つ。
- ・アルミサッシが塩害にあっている。(変形もある)
- ・ガラスブロックの損傷がある。
- ・地盤の沈下が認められる。(杭と土間配筋との差) 中庭、出入口
- ・シールの劣化が目立つ。
- ・屋根のメンテナンスが出来ていない。(ドレン回り・・・屋上緑化)
- ・外部金属製品、金属部材の腐食、錆がみられる。
盤、キュービクル、樋金物、スチール戸
- ・雨漏りが発生しており、外壁からの漏水が見受けられる。
- ・外壁形状が斜めの部分が外壁扱いの仕上げとなっており、汚れ、仕上げ材の損傷が見受けられる。
- ・児童生徒の人数の差により、内部仕上げの損傷が大きく違う。
- ・廊下回り、ガラスの断熱性能が低いため結露が生じている。
- ・階段の通風がよくない。
- ・体育館の夏場に必要な通風の窓が十分に確保されていない。(設計上の問題)
- ・体育館のキャットウォークは人が通れない。
- ・体育館の排煙窓が故障しやすい。
- ・プールはコンクリート製が多いため、手洗いまわりなどにクラックが多い。
- ・プールのろ過機は、順次交換が行われている。
- ・グラウンドの砂が周囲・近隣へ飛散している。
- ・フェンスの損傷が多い。
- ・外部の上裏の仕上げが剥落している。
- ・屋上のドレインに砂や葉っぱが詰まり管理できない。

今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

改築（建て替え）中心から長寿命化改修に切り替えていくためには、計画的に機能向上と機能回復を図る修繕・改修を建物全体で実施する必要がある。

長寿命化型コストを試算するにあたり、P.11～P.13の構造躯体の健全性判定で改築は「50年」、長寿命化は「80年」で更新周期を設定し、コスト試算を行った。

<グラフの年表示>
 基準年度 和暦
 試算期間: 基準年の翌年度から40年間

改築

更新周期 <改築、要調査> 年 <長寿命> 年

工事期間 年
 実施年数より古い建物の改築を 年以内に実施

1 試算上の区分(改築、長寿命)ごとに更新周期を設定する。
 試算上の区分が未記入の場合は「改築」と同条件で算出する。

長寿命化改修

改修周期 <長寿命> 年

工事期間 年
 実施年数より古い建物の改修を 年以内に実施

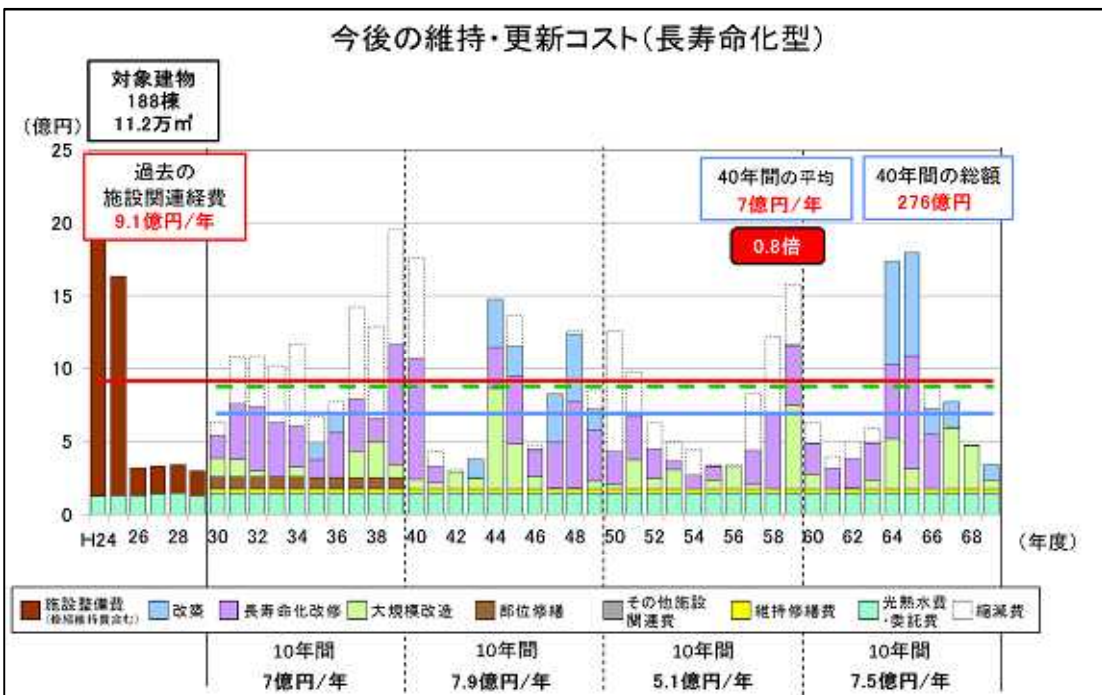
大規模改造

改修周期 年周期
 (ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない)

部位修繕

2 躯体以外の劣化状況が未記入の場合は、部位修繕は算出されない。

D評価: 今後 年以内に部位修繕を実施
 C評価: 今後 年以内に部位修繕を実施
 (ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く)
 A評価: 今後 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く



試算では、従来型から長寿命化型にシフトすることで、今後40年間の維持・更新コストは総額 276 億円となり、従来の改築（建て替え）中心の更新コスト 350 億円より74億円、約21%経費を削減することができる結果となった。

課題

小学校14校のうち、能生小学校、根知小学校、青海小学校の3校が、昭和40年代に建設された校舎を利用しており、これまでに外壁改修、屋上防水、各設備の更新など大規模改修工事を行っているものの、今後、耐用年数の経過により改築（建て替え）が必要となる。

現在の小中学校をこのまま維持していくためには、今後40年間で350億円、年平均で8.7億円が必要という試算結果となっている。

現地調査結果から分かるとおり、多くの小中学校で広範囲で劣化が進行しているにも関わらず、予算の関係で改修、修繕が先送りされている現状も見受けられる。

児童生徒数の減少が見込まれる中で、当市の財政事情からすると、今後も現在の小中学校すべてを維持していくことは現実として非常に厳しく、将来の学校利用者数を見込んだ適正配置、学校再編が喫緊の課題であると言える。

4 学校施設整備の基本的な方針等

学校施設の規模、配置計画等の方針

学校施設の長寿命化計画の基本方針

糸魚川市公共施設等総合管理指針	
基本方針1	社会情勢の変化に応じた適正配置を進める！
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用圏域、用途分類別に公共施設等のあり方を検討する。 ・公共施設等の整備、維持管理等の考え方を統一する。 ・適正配置の具体的な計画を策定する。
基本方針2	マネジメントによる効率的・効果的な管理を行う！
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメントの推進体制を構築する。 ・「固定資産台帳」と「施設カルテ」により、分析と評価を行う。 ・費用負担に関する市民との合意形成を図る。
基本方針3	長寿命化を図る！
	<ul style="list-style-type: none"> ・「事後保全」から「予防保全」へ転換し、長寿命化を図る。 ・点検・診断等を予防保全に活用する。 ・市民の利便性に配慮した施設機能を確保する。 ・耐震化を進める。
基本方針4	財政負担を軽減・平準化する！
	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯経費（ライフサイクルコスト）を抑制する。 ・必要な財源の確保に努める。 ・民間活力の活用を検討する。
学校施設の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校施設長寿命化計画」により、施設の長寿命化を図る。 ・地域の状況を勘案して最適な教育環境について検討する。 ・学校の適正配置に関する計画を今後策定し、適切な管理運営方法を検討する。

糸魚川市学校施設長寿命化計画	
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の減少を踏まえ、将来を見据えた小中学校の再編（適正配置）を検討し、小規模校・過小規模校の解消を目指す。 ・学校施設の現状と課題を市民へ周知し、より良い教育環境を確保するために地域及び市民を交えた議論を進める。 ・改築（建て替え）中心から長寿命化改修へ転換する。 ・改修にあたっては、現状回復だけでなく、安全性、機能向上により事故防止と防犯対策を図る。 ・定期的な点検と適切な維持管理により、生涯経費を削減し、財政負担の平準化を図る。

学校施設の規模・配置計画等の方針

当市では、平成23年度に糸魚川市立小中学校の適正配置について（以下、「基本方針」という。）を策定し、市内小学校中学校の適正規模の目安を定めている。

この基本方針では、小中学校の適正規模の基準を12学級以上18学級以下としており、学校教育法施行規則で定められた教育上の適正規模と一致している。

当市でこの基準に該当する学校は、小学校では糸魚川東小学校、糸魚川小学校、田沢小学校の3校、中学校では糸魚川中学校1校だけである。

このような実態から、基本方針では、小中学校で6学級以上11学級以下を「小規模校」、小学校の5学級以下を「過小規模校」と位置づけ、当面は「過小規模校」の複式学級解消を図るとしている。

平成29年度時点で小学校の「過小規模校」は7校であるが、平成30年度には学校統合により5校まで改善される。複式学級を解消するためには、今のところ統廃合による学校再編しか方法はなく、これには市と地域、PTA等の関係者との合意形成が必要であるため、学校再編には時間を要すると考えている。

中学校4校は、当面、各学年で2学級以上を維持できることから、引き続き、現状の4校を維持していくこととする。

改修等の基本的な方針

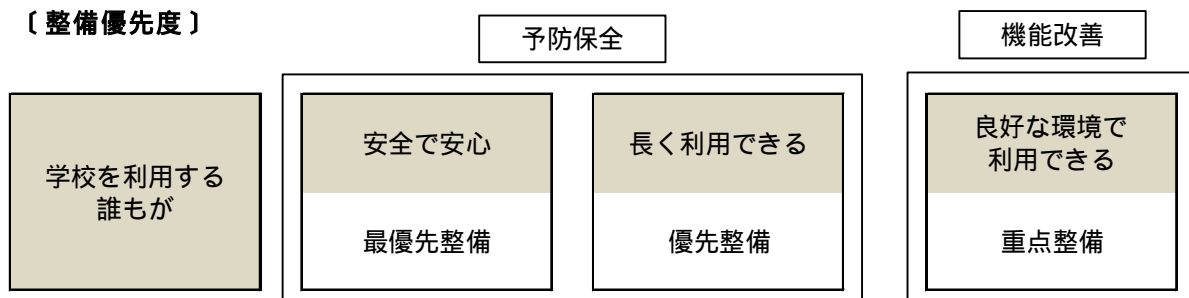
長寿命化の基本方針

長寿命化を実現するための改修計画は、整備優先度に基づいて、作成する必要がある。そして、老朽化しているすべての学校施設を同様に整備するのではなく、老朽劣化度や危険性、改修の有効性等を勘案した整備優先度に基づき、計画的に実施していくことが重要である。また、近年建てられた学校施設においても、維持管理、更新を行うことにより、長く利用していくことも重要である。

整備優先度とは、「学校を利用する誰もが、安全で安心なものとして、長く良く使っていける。」ことを目的としている。このことから、「安全で安心な施設」であることを最優先とし、「長く利用できる施設」とすることを優先的とする。また、「良好な環境で利用できる」ことについては、必要性や効果を勘案し重点的に整備を行うこととする。

安全で安心、長く利用できるについては、予防保全とし、良好な環境で利用できるものは、機能改善として分類する。

〔整備優先度〕



長寿命化事業は優先順位に基づき実施するが、環境への取り組み、今後の維持管理費の低減を考慮し、大規模改造等の計画立案においては、エコ対策の導入も検討する。

ア 安全で安心（最優先整備）

学校施設は、安全性の確保が特に重要であるが、現地調査の結果、非構造部材の落下の恐れのあるものがあつた。これらは人命に被害を及ぼす恐れもあるため、外壁落下防止対策（外壁改修）、非構造部材等危険防止対策、事故防止対策などの緊急性を最優先に取り組むこととする。

イ 長く利用できる（優先整備）

今後、より一層、学校施設の老朽化が進行することが想定され、長寿命化対策が求められる。長寿命化対策において重要となる外壁や屋上防水、配管、機器の更新等を行うことにより、既存の学校施設の長寿命化が図られるよう、優先して取り組むこととする。

ウ 良好な環境で利用できる（重点整備）

既存の学校施設には、現在求められている規模、形態、能力、環境等と一致しないものが一部にあるため、必要に応じて既存の学校施設の機能改善等の改修を行う。

予防保全と機能改善

安全で安心（最優先整備）、長く利用できる（優先整備）、良好な環境で利用できる（重点整備）の3つの分類を「安全で安心」と「長く利用できる」を1つにまとめ『予防保全』、「良好な環境で利用できる」を『機能改善』とする。『予防保全』は、安全性（緊急性も含む）や現状維持を目的とし、『機能改善』は、現状よりも快適性、環境を向上させる目的として位置づける。

ア 予防保全

これまでの維持管理は、深刻な劣化、不具合など、問題が発生してから対応を行う事後保全の管理であったが、今後は予防保全の管理へ転換することが重要である。予防保全において最も重視されるのが点検である。定期点検や既存施設判定により、深刻な劣化、機能停止の兆候を事前に把握し、常に良好な状態を保つよう、施設の維持管理を行うものとする。

鉄筋コンクリート造建築物の劣化現象として、コンクリート中性化、鉄筋腐食、コンクリートひび割れ、漏水、コンクリートの強度劣化、大たわみ、表面劣化、凍害が挙げられる。これらの現象が生じないよう、躯体の保護に関する改修（外壁改修、屋上防水改修、配管取替等）を、重点的かつ計画的に行う。

建築は建物の外郭、電気は受変電設備と消防設備関係、機械は冷暖房機器と消防設備関係を重視する。具体的項目は、次のとおりとする。

建築	屋上・屋根	・防水（改修） アスファルト防水 シート防水等
		・アルミ笠木
		・金属板葺（塗装）
	外壁	・アクリルゴム系化粧防水
		・目地シーリング
	・外部建具回りシーリング	
躯体	・コア抜きによる強度確認	
電気	受変電設備	・高圧ケーブル
		・気中開閉器
		・キュービクル
消防設備	・総合盤	
設備	空気調和	・空冷ヒートポンプエアコン
		・ガスヒートポンプエアコン（維持）
		・ガスFF暖房機
		・灯油地下タンク
	水槽	・高架水槽

上記の項目を基準とし、各学校の現地調査により、緊急性のある項目も記載した。

イ 機能改善

建築は環境の快適性を重視、電気は長寿命化や環境配慮、機械は今後の教育環境を重視する。具体的な項目は、以下のとおりとする。

断熱・快適性	・ペアガラス
快適性	・内装
長寿命化	・照明器具（LED）
快適性	・ガスヒートポンプエアコン（新設）
快適性	・トイレ
環境配慮	・太陽光
快適性	・EV

目標使用年数、改修周期の設定

躯体の耐用年数に着目し、各学校の校舎や体育館が竣工した年代により、3グループに分類した目標使用年数とする。

- ・昭和59年までに竣工 … Aグループ（耐用年数 60年）
- ・昭和60年～平成9年の間に竣工 … Bグループ（耐用年数 80年）
- ・平成10年以降に竣工 … Cグループ（耐用年数100年）

部材の改修周期は「建築物のライフサイクルコスト」に記載されている計画更新周期を目安とし、また、過去の改修工事や現地調査での状況も参考にしながら、設定した。

部材更新周期の目安

〔主な部材更新周期の目安〕

(出典)建築物のライフサイクルコスト

部 種	部 位	項 目 (規格・形状等)	計画更新周期 (年)	
建 築	屋上・屋根	アスファルト防水 (歩行用)	30	
		シート防水 (非歩行用)	20	
		金属屋根 (折板葺き)	30	
	外壁	タイル仕上げ	40 ~ 65	
		吹付仕上げ	30	
		シーリング (目地)	15	
	内装	天井 化粧石膏ボード	30	
		壁 ボード仕上げ (クロス張り)	30	
		床	塩ビシート仕上げ	30
			タイル仕上げ	65
	建具	外部	アルミ建具	40
			鋼製建具	30
			建具シーリング	15
		内部	鋼製建具	30
電 気 設 備	電灯・動力設備	分電盤	30	
		非常用照明器具・誘導灯・照明器具	20	
		配線器具類	20	
		電線類 30 ~ 40	30 ~ 40	
	受変電設備	柱上気中開閉器、高圧ケーブル	10 ~ 30	
	発電設備	発電機	30	
	火災報知設備	受信機、感知器、ベル等	20	
昇降機設備	油圧式 (25年)、ロープ式 (30年)	25 ~ 30		
機 械 設 備	温水機	鋼製立形ボイラー、電気ボイラー	15	
	冷凍機	吸収式冷凍機、遠心冷凍機	20	
		空気熱源ヒートポンプユニット	15	
	冷却塔	F R P 製	15	
	空気調和機	ユニット形空調機、水冷式パッケージ形空調機	10	
		マルチパッケージ形空調機	15	
	冷暖房ユニット	ファンコイルユニット	20	
	全熱交換器		20	
	送風機	遠心送風機、軸流送風機、消音ボックス送風機	20	
	ポンプ	冷温式ポンプ、冷却水ポンプ、ボイラー給水ポンプ 揚水ポンプ、屋内消火栓ポンプユニット	20	
	タンク類	F R P 製タンク、鋼板製タンク、S U S 製タンク	30	
	弁類	各種弁類、継手類、温度計、圧力計、瞬間流量計	15 ~ 30	
	配管類	各種配管	20 ~ 30	
	衛生器具	小便器、洋式便器、和式便器	30	
消火機器	屋内・屋外消火栓、送水口、テスト弁	30		

() 計画更新周期 (年)・・・部材の更新周期を示す

5 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

改修等の整備水準

大規模改修

改修実施の検討は、まず、現地調査、定期点検等により現状把握を行い、各部材が更新周期を迎えていること、国庫補助適用条件に適合することを確認し、実施の判断をする。改修内容は、主に屋根、内外壁、建具等の更新となるが、用途変更による内部改造、エコ対策設備の設置など環境整備に関することを同時に実施することもあり、関係団体等との協議を行うことや、長期使用に耐えうる部材の使用など、十分に検討するものとする。

老朽化が著しく、大規模改修を行っても長寿命化が合理的でない場合（施設の劣化状況、立地環境等の要因から長寿命化改修に適さない場合）には、改築又は移転新築を事業化するものとし、その場合は、将来の児童生徒数を見込んだ必要最低限の施設として整備するものとする。

〔主な部材の計画更新周期の目安〕

（出典 建築物のライフサイクルコスト）

区分	種別（計画更新周期：年）
外装	外壁複層塗材（15）・シート防水（20）・シングル葺（20） 長尺金属板（20）・外壁ボード張（20）
内装	床長尺塩ビシート（30）・屋体フローリング [*] 板（30） 内壁クロス張（30）・内壁板（30）・天井PB（30）
建具	鋼製建具（30）・アルミ建具（40）・建具シーリング（15）
設備機器	照明器具（20）・電線類（30～40）・配管類（20～30） 衛生器具（30）

躯体保護

躯体保護は、鉄筋コンクリートを保護する外壁モルタル、塗装材、シート防水等の改修により、躯体への雨水や二酸化炭素の浸入による鉄筋の腐食を防ぎ、躯体の脆弱化を予防するである。躯体保護は長寿命化対策の重要事項となっており、計画的かつ確実に実施するものとする。

ア 外壁

外壁は、外部（雨、風、温湿度差など）から躯体や内部環境を守る重要な役割を持っている。外壁落下防止事業は、躯体の仕上げ材であるモルタルの浮き（躯体からモルタルが離着する状態）、表面のひび割れ、鉄筋の爆裂（鉄筋が腐食し、むき出しになる状態）に対して樹脂注入や防錆防水材等を塗布することによる改修を行った後、防水型の塗装などを施して躯体を長期に保護するものである。

イ 屋上、屋根防水

屋上や屋根は直射日光、風雨、温度差といった外部環境から内部環境を守るという役割を持っている。防水改修事業は、校舎屋上の露出防水層のシートを張り替えや、屋内運動場の長尺金属板の錆びや亀裂を補修し塗膜防水により改修する等の方法がある。これは建物を長寿命化するだけでなく、雨漏りを防止させ良好な教育環境を維持させることになる。改質アスファルトシート防水層やシングル葺き、長尺金属板の計画更新周期は概ね20年であるが、実際は30年を超えても建築時のまま使用されていることが多い。雨漏り等が生じた際は、防水層の修繕等で対応しているが、建築経過年数20年以上の施設において防水層破断や雨漏りが散見される場合は、計画的に全面改修を行い、長寿命化を図ることが大切である。

トイレの洋式化

家庭や公共施設では洋式便器が普及しているが、当市の学校施設のトイレ洋式化については、設置率は50%で最低限の目標達成にとどまっている。しかし、便器の違いに対応できない児童や、和式便器は器具周囲に汚物が付着しやすく不衛生のため、引き続き計画的にトイレの洋式化を進めていくものとする。

設備・機器延命化

学校施設には、電気、給排水、空調、ガス設備等があり、適切な維持管理が行われていないと機能低下等による危険が生じる。当市では設備・機器の維持管理として、保守点検を専門業者に委託しており、点検の結果、処置が必要と判断されたものは修繕・部品取替え等を行っている。これにより、安全で良好な環境が常に維持されるだけでなく、不具合箇所の拡大や他の部品等に及ぼす悪影響を抑えている。

エコ対策

学校施設では、環境負荷の低減や自然との共生に配慮した整備をするともに、児童生徒が環境問題を身近に感じられるような工夫を行うことが重要である。エコ対策としては、太陽光発電の導入、既存施設の省エネ化として空調、電力、使用水量の低減等、自然と共生する環境作りとして施設の緑化が挙げられる。

バリアフリー

学校施設は児童生徒以外にも教職員、保護者、幼児、お年寄り、障がい者など、さまざまな人が利用するため、ユニバーサルデザイン（UD）の思想を基にした施設整備、「できる限りすべての人が利用可能」な環境としてのバリアフリー整備が求められている。

重点的に整備を行う箇所は、職員、保護者、地域等の外来者の多い管理棟1階部分や、屋内運動場、地域連携施設等が考えられ、整備の内容は、段差の解消や手摺、誰もが認識しやすいサイン計画、色覚障がい者にも分かりやすい色彩計画などが挙げられる。

用途別の整備水準

校舎

校舎の耐震化は、平成25年度の糸魚川小学校、糸魚川東中学校の改築事業によりすべて完了している。

今後は、「指針」及び「学校施設長寿命化計画」を指標とし、児童・生徒数の現状と将来推計を踏まえて、地域振興、財政計画との整合を図りつつ、これまでの改築（建て替え）中心の整備から、長寿命化に重点を移し、老朽施設の大規模改修及び予防保全の修繕を計画的に行っていくものとする。老朽化対策にあたっては、エコスクール化、トイレ環境の改善、冷房設備の設置等の社会的要請にも応えていくものとする。

今後10年間の見通しとして、大規模改修としては、建設後に改修を行っていない能生中学校、青海中学校、糸魚川中学校の順で実施を計画している。また、時期は未定ではあるが、改築又は移転新築として大和川小学校と能生小学校を検討している。

大和川小学校は海岸線に近いとため、塩害により施設の劣化が進んでいる。また、大地震発生時には津波の心配もあり、児童の安全確保が不安視されている。能生小学校は、学校周辺の道路が狭いため、登下校時の児童の安全確保が長年の課題となっている。

体育館

体育館の非構造部材の耐震化は、平成29年度にすべての学校で完了している。

体育館は、有事の際、地域住民の避難所として役割を果たすことから、耐震化のみならず、屋根、外壁、内壁、床の改修のほか、バリアフリー化、多目的トイレ、非常用電源の整備など、防災機能の強化を図っていくものとする。

グラウンド

グラウンドは、風による砂の飛散が原因で路盤が削られることで、下層の砕石が露出し、児童生徒の屋外活動に支障をきたすことが懸念されている。また、地面が削られると勾配がなくなり、雨水の流れも悪くなることから、周りの側溝への排水が機能せず、グラウンド内で水たまりの原因にもなっている。

グラウンドの改修としては、土砂の入れ替えの他にフェンス、防球ネットの更新も挙げられるが、校舎、体育館と同様に優先順位を決めて計画的に整備していくものとする。

プール

すべての小学校で昭和40年代以降プールが整備されているが、現状の課題として、プール、プールサイドの劣化対策、給排水管及びろ過機の取り替えも必要で、プール全体で老朽化が進んでいる。プールを改築（建て替え）するには莫大な費用が掛かるため、今後は、隣接の学校プールを共同利用する方法や他施設のプールを利用するなど、プールの利用形態等の抜本的な見直しを検討するものとする。

教職員住宅

今後、新たに教職員住宅を整備する必要性はないと考えている。現施設は使用できる限り使用し、改築（建て替え）が必要な時期が到来した時点で、更新せず取り壊し、借地はすべて返還するものとする。

給食センター（給食調理場）

能生学校給食センターは平成21年度に改築し、老朽化対策を図った。

学校給食調理場ドライシステム化の未対応校については、大規模改修に併せて対応するものとするが、児童生徒数が減少している中で、給食の提供方法についての抜本的な見直しが課題となっており、民間委託の可能性を含め、慎重な検討が必要である。

〔修繕・補修工事等〕

種別	工事名称等	内容
建築	教室・屋体床補修・改修	損傷や凸凹が生じた教室床の塩ビシート、屋体の床板張替え等
	教室棚等家具補修・改修	劣化部分の補修、収納棚改修（必要数の確保等）
	建具・ガラス取替え・修繕	鋼製からアルミ製建具取替え等、破損ガラスの修繕
	屋根・屋上防水補修	雨漏りが生じた屋根・屋上の緊急的な補修
	渡り廊下屋根補修・改修	腐食が著しい鉄骨部材、屋根の補修・改修
	トイレ内装補修	内装補修（床・壁の塗り替え、タイル・天井・ブース等）
	トイレ便器等補修・取替え	老朽化した便器等の更新（洋式化等）と修繕
	プール塗装改修	内部亀裂の補修、塗り替え
設備	手洗い場設置	教室数に対し不足する手洗い場の設置
	ろ過機取替え・修繕	保守点検等により劣化が確認されたるろ過機の取替え・修繕
	公共下水道直結	合併浄化槽等を廃止、下水道に直結
	照明器具設置・取替え	照度不足の居室に照明器具を設置、既存器具の取替え
	各種配線・配管取替え	設備機器の増設、既存配線・配管の劣化に伴う取替え
土木	側溝敷設	適切な雨水・排水対策のため側溝を敷設
	排水グレーチング設置	児童生徒の通行時の安全対策として側溝に蓋を設置
	防球ネット設置	周辺住民の安全対策のためにネットを設置
	フェンス・塀の設置・改修	防犯対策等として囲障の設置・改修、補修（転倒防止）
	花木・生垣の整備、剪定	高木落下の危険、緑化修景のための整備・剪定

維持管理の項目、手法等

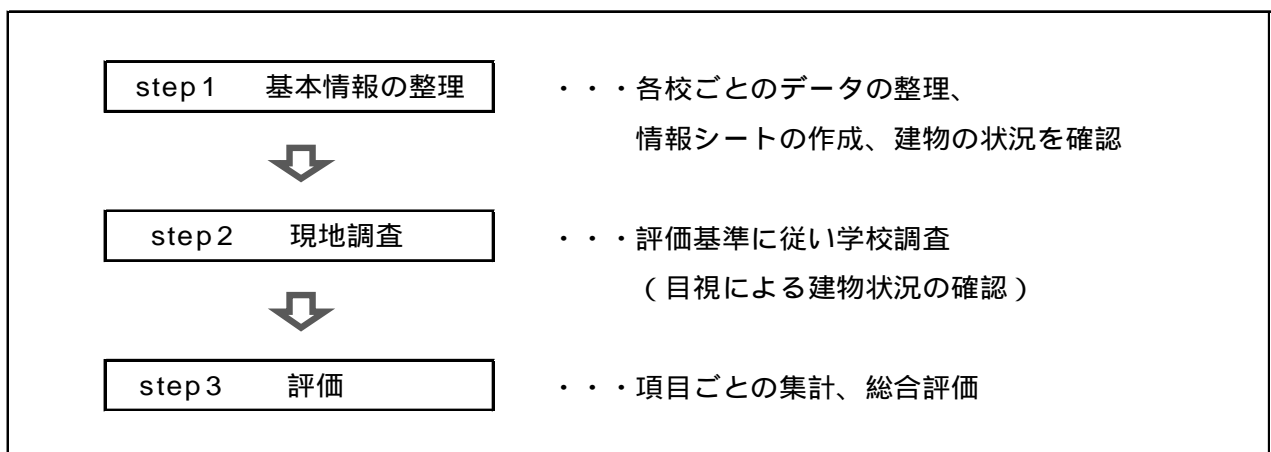
各学校施設の維持管理を効率的・効果的に実施するため、5年ごとに施設性能評価を実施する。施設性能評価は、施設の状況を的確に把握したうえで、適切な保全対策を実施するとともに効率的・効果的な財源投入や必要予算の把握を可能にすることを目的に実施する。また、評価結果は、施設再編の実施のための基礎資料としても扱うことが可能で、施設性能評価の評価項目には、建築物の安全性・快適性、建物や設備などの劣化状況などの機能性のみならず、変化していく教育活動への適応性などや、近年教育環境に求められている環境配慮といった環境性などの性能評価のほか、児童生徒1人当たりの床面積や空き教室の数などの施設の利用性に対する評価及び運営管理費・修繕更新費などの経済性に対する評価も含むものとし、学校施設の置かれている状況の総合的な把握が可能となるものである。

施設性能評価の手法は、既往資料・データなどにより建物の基本的な情報や現状を把握した上で、評価基準に従って実際の建物の状態を目視により確認して施設性能評価シートに評価を記載するものとする。

現地調査にあたっては、必要に応じて設備管理者や委託点検者などの専門技術者のアドバイスを受け、または立会いをしてもらうものとする。また、建物状態の点検の際に、漏水や外壁材の剥落等の緊急性のある危険箇所が発見された場合は、応急措置を取るほか、専門技術者による判断を仰ぎ適切な対応を行う必要がある。

また、現地調査では予め定めた調査項目以外にも、学校へのヒアリングなどを行うとともに、各校に学校アンケートを配付し職員に記入してもらうことで、学校の置かれている状況の把握に努めるものとする。

施設性能評価シートに記載された評価は、評価項目ごとに集計し、施設の総合評価を表示するものとする。評価結果は、一覧表やレーダーチャートによりわかりやすく表現するものとする。



施設性能評価の手順

基本的な情報の整理と施設管理台帳の作成

基本情報については、「基本情報シート(各校)」と「棟別情報シート(各校棟別)」を施設管理台帳としてまとめる。これまで各データ毎(光熱費一覧、面積規模一覧など)にまとめられていたものを各校毎にシートに整理し、1シートで1つの学校の情報がすべて把握できるようにする。

施設管理台帳の構成

施設管理台帳は、建物の基本情報を整理するとともに、施設性能評価および保全整備コスト算定のベースとなる各種データを記載する。記載項目は建物諸元のほか、運営管理、工事、修繕、コストなど各情報を含むものとする。

施設管理台帳の構成

シート名	項目	内容
基本情報シート	基本情報	所在地、用途区分
	建物情報	建設年度、竣工年月、面積(敷地、建築、延床、対象)、構造規模、耐震診断・改修の状況、仕上げ概要、設備概要
	運営管理情報	設置根拠、運営形態、管理委託、利用状況、避難所指定等
	管理費	清掃、設備、警備、法定点検等の委託費用
	光熱用水費	電気、ガス、油、水道、下水道の使用量および使用料金
棟別情報シート	建物情報	建物情報を棟別に整理 (別棟または明らかに区分できる増改築部分がある場合に記載)
	修繕履歴	工事種別、時期、内容、金額

現地調査

各校における現地調査は、施設性能指標の項目に沿って行う。施設性能指標は、そのまま施設性能評価の評価項目となる。

施設評価指標は施設評価の事例を参照しつつ、当市の学校実情を踏まえ、評価項目及び評価方法を以下のとおり設定した。

評価項目は、「建物に対する評価」、「利用性に対する評価」及び「経済性に対する評価」に3区分し、建物に対する評価は、さらに「安全性」、「快適性」、「学習活動性」、「機能性」及び「環境性」、「地域環境性」に区分する。

また、現地調査においては建物の劣化状況などを写真による記録、図面へのメモとして記録を行い、今後の学校施設の総合評価に活用する。

評価項目及び評価方法一覧

区分	項目	内容	評価方法		
建物に対する評価	安全性	耐震レベル	竣工時期、耐震診断結果、耐震改修状況	耐震診断データ、改修実績があれば評価に用いる。無い場合は建設年次から想定。	
		躯体の安全性	建物の歪み（傾き、ひび割れ）	現地確認により評価	
			錆鉄筋の発生状況	同上	
			ひび割れの発生状況	同上	
		外被の劣化	外壁材のはく離	同上	
			屋根からの漏水	現地確認・履歴により評価	
		防災・避難・防犯	消防検査等による改善指摘事項	改善指摘の有無および程度により評価	
			避難施設としての対応	緊急時の避難の安全性、容易さで評価	
			防犯対策の対応	防犯対策の項目数により評価	
	快適性	室内環境の施微	生活・交流空間の整備	現地確認により評価	
		室内設備の整備	家具・収納・掲示板の整備	同上	
		室内環境	採光・通風・防音などの性能	職員ヒアリングによる	
	学習活動への適応性	学習環境の整備	適切な学習スペースの確保	現地確認により評価	
		情報環境への整備	教育用・校務用PC、LANの整備	同上	
		共用スペースの充足度		職員ヒアリングによる	
		トイレ	洋式/和式、ドライ/湿式	現地確認により評価	
	機能性	仕上材の劣化	外壁からの漏水	同上	
			外装材、内装材、建具の劣化	同上	
		バリアフリー	バリアフリー対応状況	同上	
		設備の劣化	電気、通信、情報等の設備の劣化	各設備の主要な部位についてチェック項目を設定、現地確認により評価	
	給排水衛生、空調換気等の設備の劣化		同上		
	環境性	自然エネルギーの実施状況	太陽光・風力・雨水利用	現地確認により評価	
		木材利用の実施状況	木構造/木質化	同上	
		環境対策の実施状況	断熱性、省エネ対策		
	地域環境性	地場産材利用の実施状況	地域産材/国産材	職員ヒアリング、現地確認による	
	利用性に対する評価	利用性	利用状況と施設規模の適合性	空き教室	同上
			広さ	普通教室の面積の計/全児童数	データより算出
規模			延べ床面積/全児童数	同上	
職員数の割合			全児童数/職員数	同上	
調理員数の割合			全児童数/調理員数	同上	
施設の地域解放			体育館/校庭/特別教室	現地確認により評価	
経済性に対する評価	経済性	管理費	全児童・職員数当たり	データより算出	
		光熱水費	同上	同上	
		修繕更新費		同上	

各書式

ア 施設管理台帳 - 基本情報シート 1

施設管理台帳[基本情報シート]		年度	No.
施設台帳No.	学校名		

NO.1

基本情報	所在地							
	用途区分	学校	職員住宅	管理所管部署	糸魚川市教育委員会			
	備考							
建物情報	建設年度	年度	敷地面積	m ²				
	延床面積	m ²						
	事業費	円	不明					
	構造	鉄筋コンクリート	鉄骨	木造	その他()			
	地上階数	3 階	棟数	棟				
	耐震の状況	旧耐震(補強不要)	旧耐震(補強済)	年に完了	新耐震			
	仕上概要 (主たる部分)	屋根	アスファルト防水(歩行用)		アスファルト防水(非歩行用)		シート防水	
			ウレタン塗膜防水		金属板葺		その他()	
		PH	有	無				
	設備概要	外壁	タイル	吹付	石・金属パネル	その他()		
		受変電設備	屋内	屋外	無	発電機設備	有	無
		放送設備	卓上式					
		自然エネルギー	太陽光パネル	風力	その他()	無	Kw	
		空調設備	中央式	個別式	無	その他()		
		暖房設備	パネルヒーター	床暖房	エアコン	FF式ヒーター	他	
		(熱源)	ガス	電気	灯油			
		給水設備	重力給水方式(受水槽、高架水槽)		m ³	加圧給水方式(ポンプ 直結方式)		
		排水設備	公共下水道	浄化槽	ガス設備	都市ガス	LPG	無
		消火設備	屋内消火栓	火災報知設備	非常通報	無		
		給湯設備	中央式	個別式	無			
		(熱源)	ガス	電気	灯油			
		衛生器具	男大便器	個	(内、洋式	個)	小便器	個
			女大便器	個	(内、洋式	個)		
		(身障者用)	洋風便器	小便器	オストメイト			
	搬送設備	乗用エレベータ	台	給食用エレベータ	台	ダムウェーター	台	
	運営	管理委託	清掃	有	無	設備	有	無
		避難所指定	有	指定場所()	m ²	収容人数()	人	無
津波避難ビル指定		有	指定場所()	海拔	m	無		
その他指定		災害対策本部 防災倉庫						
施設配置図								

イ 施設管理台帳 - 基本情報シート2

【管理費】

管理委託項目		委託の有無		委託費用(千円/年)	備考
清掃	定期清掃	有	無		
設備	受変電設備	有	無		
	空調・熱源機器設備	有	無		
	浄化槽	有	無		
	プール濾過機	有	無		
	昇降機設備	有	無		
	自動ドア	有	無		
	配管等清掃	有	無		
警備	警備関連業務	有	無		
法定点検	発電機	有	無		
	消防設備	有	無		
	環境衛生	有	無		
通信	非常通報	有	無		
	除雪・雪囲い	有	無		
その他		有	無		
合計					

【光熱用水費】 H23年度

項目	契約形態(種別)	年間使用量	年間料金(千円/年)	備考
電気		Kwh		
ガス		m ³		
灯油		L		
水道	口径	m ³		
下水道				
その他				
合計				

【収入】 無し

項目	契約形態(種別)	年間発電量	年間料金(千円/年)	備考
太陽光パネル		Kw		
その他				
合計				

【修繕更新費】

(単位: 百万円)

年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	
額									
年	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計
額									
特記事項									

ウ 施設管理台帳 - 棟別情報シート

施設管理台帳〔棟別情報シート〕

	年度	No.	
施設台帳No.	学校名		

建物 情報	棟番号	棟名称				
	建設年度	年度	竣工年月	年 月		
	延床面積	m ²				
	構造	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	鉄骨	木造 其他()		
	建築物の構造	耐火	準耐火	其他		
	地上階数	地下 階	地上 階			
	戸数(職員住宅)	戸				
	耐震の状況	旧耐震(補強済)または改修不要		新耐震		
	仕上概要 (主たる部分)	屋根	ｱｽﾌﾞﾙﾄ防水(歩行用)		ｱｽﾌﾞﾙﾄ防水(非歩行用)	ｼｰﾄ防水
			ｳﾚﾀﾝ塗膜防水		金属板葺	其他()
		PH	有	無		
	外壁	ﾀｲﾙ	吹付	石・金属パネル	其他()	
	建築確認番号		号	年 月 日	不明	
検査済証番号		号	年 月 日	不明		

修繕 履歴	工事種別	実施年度	内 容	工事金額
	外装			
	内装			
	電気設備			
	機械設備			

工 調査書式 - 施設性能評価指標 1

学校名:

施設性能評価指標(1)

1. 安全性 1-1.耐震レベル		
竣工時期、 1) 耐震診断・ 耐震補強実施状況		A ・ 1998年以降に竣工の建物 または、耐震補強実施済の建物 B ・ 1983年以降に竣工の建物で耐震補強なし C ・ 1982年以前に竣工の建物で耐震診断が未実施 または、耐震改修が必要な建物で耐震改修未実施
1. 安全性 1-2.躯体の安全性		
1) 建物の歪み	目視により、明らかにわかるもの、原因と思われるものを評価する。	A ・ 問題なし B ・ 建物の歪み、撓みに起因する壁や床のひび割れ(一部) C ・ 明らかな建物の傾き、床、梁、柱の歪みや撓み
2) 錆鉄筋の発生状況	目視により、100㎡当たり5~9本か10本以上かで評価を行う。	A ・ 問題なし B ・ 外壁に部分的な鉄筋露出、錆汁発生(5~9本/100㎡) C ・ 外壁に多数の鉄筋露出、錆汁発生(10本以上/100㎡)
3) ひび割れの発生状況	目視により、100㎡当たり1~2ヶ所か3ヶ所以上かで評価を行う。	A ・ 問題なし B ・ 外壁に部分的なひび割れの発生(1~2ヶ所/100㎡) C ・ 外壁に多数のひび割れの発生(3ヶ所以上/100㎡)
1. 安全性 1-3.外被の劣化		
1) 外壁材(タイル、モルタル等)の剥離	目視により、劣化の状態の評価を行う。	A ・ 問題なし B ・ 外壁材の浮きや亀裂がみられ、剥離の危険性がある C ・ 外壁材の剥離があり、極めて危険な状態である
2) 屋根からの漏水	目視や履歴により、明らかにわかるもの、原因と思われるものを評価する。	A ・ 問題なし B ・ 屋根からの漏水が原因と思われる天井のしみが見られる C ・ 複数個所の漏水が継続しており、使用上の支障がある ・ 新築・屋上防水全面改修から30年以上経過している
1. 安全性 1-4.防災・避難・防犯		
1) 消防検査等による改善指摘事項		A ・ 問題なし B ・ 改善指摘があるが経常修繕で対応可能で、対応予定あり C ・ 改善指摘があるが未対応(別途予算措置が必要)
2) 避難施設としての対応		A ・ 問題なし B ・ 緊急時の安全・円滑な避難に懸念がある C ・ 緊急時の安全・円滑な避難に懸念がある箇所が複数ある
3) 防犯対策の対応	オートロック(電気錠) 監視カメラ 機械警備	A ・ 2項目以上の防犯対策が実施されている B ・ 1項目以上の防犯対策が実施されている C ・ 防犯対策が行われていない
2. 快適性		
1) 室内環境の整備	生活・交流空間の整備	A ・ 生活・交流空間が整備されている B C ・ 生活・交流空間が整備されていない
2) 室内設備の整備	家具・収納・掲示板の整備	A ・ 問題なし B ・ 掲示板は整備されているが、収納が不足している C ・ 収納も不足、掲示板も整備されていない
3) 室内環境	光・風	A ・ 問題なし B ・ 採光・通風・防音等の性能に関して苦情がある('2~4件/年'以上) C ・ 採光・通風・防音等の性能に関して苦情が多い('5件/年'以上)
3. 学習活動への適応性		
1) 学習環境の整備	適切な学習スペースの確保	A ・ 適切な学習スペースが整備されている(オープンスペース、フリースペース) B C ・ 適切な学習スペースが整備されていない
2) 情報環境への整備	教育用・校務用コンピュータ・校内LANの整備	A ・ コンピュータ、LAN共に整備されている B ・ コンピュータが整備されている C ・ 対応の余地あり
3) 共用スペースの充足度(玄関、廊下、階段等)		A ・ 問題なし B ・ 共用スペースの充足度(不足)に関して苦情がある('2~4件/年'以上) C ・ 共用スペースの充足度(不足)に関して苦情が多い('5件/年'以上)
4) トイレ	和式か洋式か ドライか湿式か	A ・ 洋式でドライ仕上げ(過半が洋式) B ・ 洋式あり 湿式仕上げ C ・ 和式で湿式仕上げ

オ 調査書式 - 施設性能評価指標 2

施設性能評価指標(2)

4. 機能性1 4-1.外部の劣化		
1) 外壁からの漏水	目視や履歴により、明らかにわかるもの、原因と思われるものを評価する。	A ・ 問題なし B ・ 漏水の形跡は見られるが日常に支障をきたさない C ・ 外壁からの複数個所の漏水が継続している
2) 外装材の劣化	目視により、劣化や損傷の状態の評価を行う。	A ・ 問題なし B ・ 劣化や損傷がみられるが日常使用に支障なし C ・ 新築・外装全面改修から20年以上30年未満経過している ・ 全面的な劣化や損傷がみられ、機能上の支障がある ・ 新築・外装全面改修から30年以上経過している
3) 外部建具の劣化	目視により、腐食や不具合の状態の評価を行う。	A ・ 問題なし B ・ 全体の30%未満に、腐食や不具合がみられる C ・ 著しい腐食や開閉困難等、全体の30%以上で日常使用に支障がある
4. 機能性1 4-2.内部仕上材の劣化		
1) 内装材の劣化(天井)	目視により、劣化や損傷の状態の評価を行う。	A ・ 問題なし B ・ 経年による劣化や損傷がみられる C ・ 新築・内装全面改修から20年以上30年未満経過している ・ 全面的な劣化や損傷がみられ、機能上の支障がある ・ 新築・内装全面改修から30年以上経過している
2) 内装材の劣化(壁)	目視により、劣化や損傷の状態の評価を行う。	A ・ 問題なし B ・ 経年による劣化や損傷がみられる C ・ 新築・内装全面改修から20年以上30年未満経過している ・ 全面的な劣化や損傷がみられ、機能上の支障がある ・ 新築・内装全面改修から30年以上経過している
3) 内装材の劣化(床)	目視により、劣化や損傷の状態の評価を行う。	A ・ 問題なし B ・ 経年による劣化や損傷がみられる C ・ 新築・内装全面改修から20年以上30年未満経過している ・ 全面的な劣化や損傷がみられ、機能上の支障がある ・ 新築・内装全面改修から30年以上経過している
4) 内部建具の劣化	目視により、腐食や不具合の状態の評価を行う。	A ・ 問題なし B ・ 全体の30%未満に、腐食や不具合がみられる C ・ 著しい腐食や開閉困難等、全体の30%以上で日常使用に支障がある
4. 機能性2 4-3.バリアフリー【共同住宅以外】		
1) 敷地内通路		A ・ 段差なし B C ・ 段差あり
2) 校舎内		A ・ 段差なし B C ・ 段差あり
4) 階段		A ・ 両側に手摺り設置 B ・ 片側に手摺り設置 C ・ 上記以外
5) トイレ		A ・ 多機能(オストメイト)トイレ1ヶ所以上、かつ一般トイレにも手摺り設置 B ・ 障害者用トイレ1ヶ所以上 C ・ 上記以外
6) 外部表示・誘導		A ・ 視覚障害者誘導用ブロック設置、かつ音声誘導装置設置 B ・ 視覚障害者誘導用ブロック設置 C ・ 上記以外
7) EVへの対応		A ・ 設置あり B C ・ 設置なし
4. 機能性2 4-3.バリアフリー【共同住宅】		
1) 敷地内通路		A ・ 段差なし B C ・ 段差あり
2) 共用階段		A ・ 両側に手摺り設置 B ・ 片側に手摺り設置 C ・ 上記以外
3) EVへの対応		A ・ 設置あり B C ・ 設置なし

キ 調査書式 - 施設性能評価指標 4

4. 機能性3 4-3-2.機械設備の劣化		
1) 給水設備	A	・ 問題なし
		各項目において、以下の事象が複数か所で確認されている
		・ 過去1年間に、故障・漏水等による修繕工事を行っている
		・ 軽微な錆、損傷、変形等がある
		・ 新築・全面改修から20年以上30年未満経過している
		・ 新築・全面改修から30年以上経過している
2) 排水設備	B	各項目において、以下の事象が複数か所で確認されている
		・ 過去1年間に、故障・漏水等による修繕工事を行っている
		・ 軽微な錆、損傷、変形等がある
		・ 新築・全面改修から20年以上30年未満経過している
		・ 新築・全面改修から30年以上経過している
		・ 新築・全面改修から30年以上経過している
3) 衛生設備(便所・水廻り)	C	各項目において、以下の事象が複数か所で確認されている
		・ 過去1年間に故障・漏水等による修繕工事を同じ個所で2回以上行っている
		・ 著しい錆、損傷、変形等がある
		・ 新築・全面改修から30年以上経過している
		・ 新築・全面改修から30年以上経過している
		・ 新築・全面改修から30年以上経過している
4) 空調設備	A	・ 問題なし
		各項目において、以下の事象が複数か所で確認されている
		・ 過去1年間に、故障等による修繕工事を行っている
		・ 原因不明の誤作動がある
		・ 音、振動、温度に異常がある
		・ 美観上のクレームがある
5) 換気設備	B	・ 新築・全面改修から20年以上30年未満経過している
		各項目において、以下の事象が複数か所で確認されている
		・ 過去1年間に、故障等による修繕工事を同じ個所で2回以上行っている
		・ 使用できない箇所、作動しない機器がある
		・ 新築・全面改修から30年以上経過している
		・ 新築・全面改修から30年以上経過している

ク 調査書式 - 施設性能評価指標 5

施設性能評価指標 (3)

5. 環境性 5-1. 環境配慮		
1) 自然エネルギーの実施状況	・太陽光パネル ・風力 ・雨水利用	A ・ 2項目以上の環境配慮対策が実施されている
		B ・ 1項目以上の環境配慮対策が実施されている
		C ・ 環境配慮対策が行われていない
2) 木材利用の実施状況	・木材利用	A ・ 木構造
		B ・ 木質化(内装・家具等に木を利用)
		C ・ 木材利用なし
3) 環境配慮対策の実施状況	・断熱性	A ・ 次世代
		B ・ 省エネ
		C ・ なし
4) 環境配慮対策の実施状況	・省エネ対策	A ・ あり
		B ・
		C ・ なし
6. 地域環境性 6-1. 地域環境配慮		
3) 地場産材利用の実施状況	・地場産材利用	A ・ 地域材を利用
		B ・ 国産材を利用
		C ・ その他
7. 利用性 7-1. 施設の規模		
1) 利用状況と施設規模の適合性	空き教室	A ・ 問題なし
		B ・ 一部、規模に問題のある部分、仕様状況に偏りのある部分がある
		C ・ ほとんど使用していない教室がある
		・ 施設規模が使用頻度と合わない
2) 適正な広さ	普通教室の面積の計/全児童数	A ・ 平均より広い
		B ・ 平均
		C ・ 平均より狭い
3) 適正な規模	延べ床面積/全児童数	A ・ 平均より広い
		B ・ 平均
		C ・ 平均より狭い
4) 適正な職員数	全児童数/職員数	A ・ 平均より多い
		B ・ 平均
		C ・ 平均より少ない
5) 適正な調理員数	全児童数/調理員数	A ・ 平均より多い
		B ・ 平均
		C ・ 平均より少ない
7. 利用性 7-2. 利用状況		
1) 体育館		A ・ 現在、地域開放している
		B ・ 地域開放に対応している
		C ・ 地域開放の考慮はしていない
2) 校庭		A ・ 現在、地域開放している
		B ・ 地域開放に対応している
		C ・ 地域開放の考慮はしていない
3) 特別教室		A ・ 地域開放に対応したプラン
		B
		C ・ 地域開放の考慮はしていない
8. 経済性 8-1. 運営管理費		
1) 管理費(年間)	全児童数+全職員数当たり	A ・ 平均より安い
		B ・ 平均
		C ・ 平均より高い
2) 光熱水費(年間)	全児童数+全職員数当たり	A ・ 平均より安い
		B ・ 平均
		C ・ 平均より高い
3) 修繕更新費(20年間)		A ・ 平均より安い
		B ・ 平均
		C ・ 平均より高い

ケ 評価書式 - 施設性能評価シート

施設性能評価シート		年度	No.		
施設台帳No.		学校名			
管理所属部署	糸魚川市教育委員会	作成年度	平成24年度	作成者	

建物に対する評価

項目	内容	10点満点換算	評価	備考
1.安全性	1-1.耐震レベル			
	1-2.躯体の安全性			
	1-3.外被の劣化			
	1-4.防災・避難・防犯			
2.快適性				
3.学習活動への 適応性				
4.機能性1	4-1外部の劣化			
	4-2内部仕上材の劣化			
4.機能性2	4-3バリアフリー			
4.機能性3	4-3-1電気設備の劣化			
	4-3-2機械設備の劣化			
5.環境性	5-1.環境配慮			
6.地域環境性	6-1地域環境配慮			

利用性に対する評価

項目	内容	10点満点換算	評価	備考
7.利用性	7-1施設の規模			
	7-2利用状況			

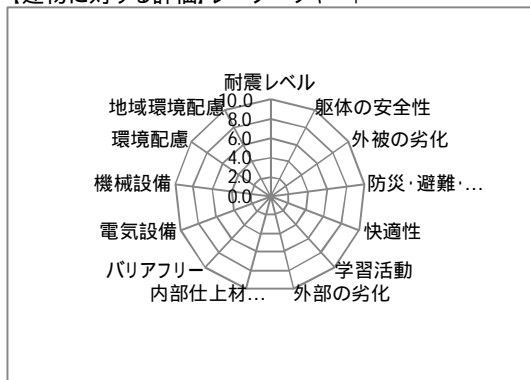
経済性に対する評価

項目	内容	10点満点換算	評価	備考
8.経済性	8-1.運営管理費			

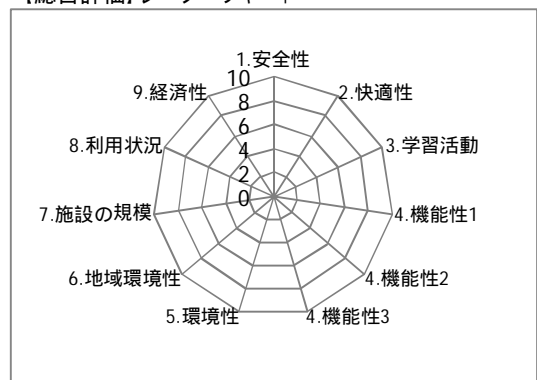
総合評価

区分	項目	10点満点換算	総合評価	備考
建物に対する評価	1.安全性			
	2.快適性			
	3.学習活動			
	4.機能性1			
	4.機能性2			
	4.機能性3			
	5.環境性			
利用性に対する評価	1.施設の規模			
	2.利用状況			
経済性に対する評価	1.運営管理費			

【建物に対する評価】レーダーチャート



【総合評価】レーダーチャート



6 長寿命化の実施計画

改修等の優先順位付けと実施計画

今後10年間の改修等の内容、時期、費用等の見込みは、以下のとおりである。

スケジュール					
年度	H30	H31	H32	H33	H34
内容	磯部、中能生小 ・プールろ過機 取替 5,000 千円 能生小 ・校舎改修ほか 6,000 千円 大和川小 ・校舎改修ほか 15,000 千円 糸魚川小 ・講堂屋上防水 3,300 千円 大野小 ・暖房設備改修 27,000 千円 根知小 ・浄化槽接続 15,000 千円	下早川小 ・屋上防水 3,000 千円	糸魚川小 ・グラウンド 38,000 千円	下早川小 ・校舎改修 20,300 千円 糸魚川小 ・体育館床改修 5,600 千円 糸魚川東小 ・グラウンド 45,500 千円	西海小 ・グラウンド 44,400 千円
	能生中 ・校舎改修 期 199,000 千円 糸魚川中 ・武道館屋根 30,000 千円 ・調理室トイレ 洋式化 1,400 千円	能生中 ・校舎改修 期 204,900 千円 ・改修実施設計 10,600 千円	能生中 ・体育館改修 163,000 千円 糸魚川中 ・空調設備改修 90,000 千円 青海中 ・改修実施設計 37,600 千円	青海中 ・校舎改修 期 223,100 千円	青海中 ・校舎改修 期 332,600 千円 ・改修実施設計 25,500 千円

H30 は当初予算査定、H31～H34 までのスケジュールは、H30 実施計画査定時の内容である。

スケジュール					
年度	H35	H36	H37	H38	H39
内容		西海小 ・校舎外壁改修 77,500 千円 ・暖房設備改修 30,000 千円 糸魚川東小 ・体育館改修 16,900 千円	西海小 ・体育館改修 19,900 千円	田沢小 ・改修実施設計 7,100 千円	田沢小 ・校舎改修 147,100 千円
	糸魚川中 ・改修実施設計 22,400 千円 青海中 ・体育館改修 318,300 千円	糸魚川中 ・校舎改修 期 112,000 千円	糸魚川中 ・校舎改修 期 340,700 千円	糸魚川中 ・体育館改修 50,000 千円	

H35 以後の実施計画は、こども課の計画である。

長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

P.15に記載のとおり、従来型から長寿命化型にシフトすることで、コスト試算では、今後40年間で維持・更新コストは総額 276 億円（年平均7億円）となり、従来の改築（建て替え）中心の更新コスト 350 億円より74億円、約21%経費を削減できることから、長寿命化へシフトすることで一定の効果はあると言える。

しかし、今後5年間の実施計画では、改修等には年平均3億円しか見込めず、長寿命化によるコスト試算の半分以下の事業費しか確保できていない。現有学校数を維持したままで学校施設の維持管理・更新費用の財源を確保することは、大きな課題となっている。

学校施設長寿命化計画の運用だけでは限界があることから、将来の児童生徒数を見込んだ学校施設の配置や規模、運営面等、多面的な見直しが必要であり、適正配置の方針を明確にする必要がある。

7 長寿命化計画の継続的運用方針

情報基盤の整備と活用

今後、固定資産台帳及び施設管理台帳を活用し、学校施設の基本情報、光熱水費などの維持管理費、工事履歴や点検情報を一元管理していくものとする。

施設管理台帳のデータは、施設性能評価や保全整備コスト算定、また継続的な施設管理に活用できるよう、記載項目や内容を設定する。

推進体制等の整備

学校施設長寿命化計画を継続的に運用していくために、こども課を中心に建設課の技術職員、企画財政課の公共施設マネジメント担当と連携し、全庁的な体制で取り組んでいくものとする。

また、学校施設の維持管理については、学校管理員による日常点検や管理業務委託による各種点検報告書を活用して、不具合箇所の早期把握と修繕対応を図っていくものとする。

フォローアップ

学校施設長寿命化計画は、学校施設の改修や改築（建て替え）の優先順位を設定するものであり、糸魚川市総合計画実施計画の中で実施年度、事業費を精査するものとする。

学校施設長寿命化計画の進捗状況等については、適切な時期にフォローアップを実施し、PDCAサイクルに沿った進捗管理を行うものとする。

糸魚川市学校施設長寿命化計画
平成 25 年 3 月策定
平成 30 年 3 月改訂

〒941-8501

新潟県糸魚川市一の宮 1 丁目 2 番 5 号

糸魚川市教育委員会事務局

こども課管理係

TEL 025-552-1511

FAX 025-552-8292

E-mail kodomo@city.itoigawa.lg.jp